

# 東京女子大学学則

(1948年3月25日制定)

改正	1950年 3月 1日	1989年 7月21日	1996年12月19日	2003年 7月31日	2010年 1月21日	2016年 9月15日
	1951年 1月31日	1989年 9月22日	1997年 1月23日	2003年10月16日	2010年 1月25日	2016年12月15日
	1954年 2月15日	1990年 3月16日	1997年12月18日	2003年12月18日	2011年 1月20日	2017年 2月16日
	1958年 2月28日	1990年 7月20日	1998年12月17日	2004年 7月15日	2011年 4月21日	2017年 3月 9日
	1961年 3月10日	1991年 3月15日	1999年12月22日	2004年11月18日	2011年12月15日	2017年12月21日
	1965年 9月15日	1992年 1月17日	2000年 1月20日	2005年 3月10日	2012年 3月26日	2019年 2月21日
	1971年 1月29日	1992年 2月21日	2000年 3月21日	2005年 7月21日	2012年 9月20日	2019年 3月14日
	1975年11月28日	1992年10月15日	2001年 1月25日	2005年12月15日	2012年12月20日	2020年 1月16日
	1985年 2月22日	1992年11月19日	2001年 2月22日	2006年12月21日	2013年 9月19日	2020年 6月18日
	1985年 3月29日	1993年 2月23日	2002年 1月24日	2007年 3月16日	2014年 1月16日	2021年 4月15日
	1986年 5月30日	1993年12月21日	2002年 2月21日	2007年12月20日	2014年 7月17日	2022年 2月17日
	1987年 1月30日	1994年 2月17日	2002年 3月11日	2008年 2月21日	2015年 1月15日	2023年 3月10日
	1987年 4月 1日	1995年 2月16日	2002年 5月16日	2008年12月24日	2016年 1月21日	2023年 4月20日
	1988年 1月29日	1995年12月14日	2003年 1月16日	2009年 1月15日	2016年 2月18日	
	1989年 3月24日	1996年 2月29日	2003年 4月17日	2009年 2月19日	2016年 4月21日	

## 第1章 目的

**第1条** 東京女子大学（以下「本学」という。）は、キリスト教を教育の根本方針となし、学問研究及び教育の機関として、女子に高度の教養を授け、専門の学術を教授研究し、もって真理と平和を愛し人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的とする。

**第1条の2** 本学は、前条の目的を達成するために、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価項目、実施体制、実施方法等に関する規程は、別に定める。

## 第2章 綱領

**第2条** 本学は、その教育の基礎として、キリスト教に関する科目を設け、また宗教的行事を行う。

## 第3章 学部及び大学院

**第3条** 本学に現代教養学部を置く。

2 現代教養学部は、広い識見と創造性を有し、専門性をもつ教養人として、現代社会の多様な課題を主体的に解決しうる人物の育成を目的とする。

**第3条の2** 本学に大学院を置く。

2 大学院学則は、別に定める。

**第4条** 現代教養学部には、国際英語学科、人文学科、国際社会学科、心理・コミュニケーション学科及び数理科学科を置く。

2 国際英語学科に、国際英語専攻を置く。

国際英語学科は、国際共通語としての英語とその言語文化の広がりをもつことを専門的に考究し、英語の実践的かつ高度な運用能力と発信力を身に付けることを通して、世界の諸地域や国際化が進む日本国内の各地域で社会の発展に貢献できる人物の育成を目的とする。

3 人文学科に哲学専攻、日本文学専攻及び歴史文化専攻を置く。

人文学科は、哲学、文学、史学の分野を横断的に学ぶことを通して、人間の文化に関わる基礎的知識を広く修め、考究の姿勢、応用能力を社会のあらゆる分野に生かし、文化の創造と社会の発展に貢献できる人物の育成を目的とする。

4 国際社会学科に、国際関係専攻、経済学専攻、社会学専攻及びコミュニティ構想専攻を置く。

国際社会学科は、国際関係、経済学、社会学、コミュニティ構想の分野を横断的に学ぶことを通して、現代社会を世界的な視野でとらえ、豊かな教養と専門性を備えた地球市民として、地域社会や国際社会で活躍できる人物の育成を目的とする。

- 5 心理・コミュニケーション学科に、心理学専攻及びコミュニケーション専攻を置く。  
心理・コミュニケーション学科は、心理学、コミュニケーションの分野を横断的に学ぶこと  
を通して、分析能力、問題解決能力を養い、人間・社会・世界を科学的に探求し、現代に生き  
る人間のあり方を考究・提言できる人物の育成を目的とする。
- 6 数理科学科に、情報数理科学専攻を置く。  
数理科学科は、理系学問の基礎となる数学の修得を基に、数学、情報科学、応用数理学の分  
野を横断的に学ぶことを通して、数理科学的知識と柔軟な論理的思考力及び技術をもって社会  
と科学技術の発展に寄与できる人物の育成を目的とする。

**第5条** 学部及び学科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
現 代 教 養 学 部	国 際 英 語 学 科	100 名	400 名
	人 文 学 科	205 名	820 名
	国 際 社 会 学 科	284 名	1,136 名
	心理・コミュニケーション学科	200 名	800 名
	数 理 科 学 科	71 名	284 名
総 計		860 名	3,440 名

#### 第4章 教職員及び会議

**第6条** 本学に学長を置く。

- 2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

**第6条の2** 本学に副学長を置くことができる。

- 2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

**第6条の3** 学部に学部長を置く。

- 2 学部長は、学長を助け、学部の校務をつかさどる。

**第7条** 本学に、一定数の教授、准教授、講師及び助教を置く。

**第7条の2** 本学に、教育研究の円滑な実施に必要な業務を行うため助手を置く。

**第7条の3** 本学に、事務遂行のため一定数の職員を置く。

**第8条** 本学の教学にかかわる全学的に重要な事項を審議するため大学評議会を置く。

- 2 大学評議会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長（副学長を置く場合）
- (3) 学部長
- (4) 全学共通教育部長
- (5) 大学院合同研究科会議議長
- (6) 図書館長
- (7) 大学宗教委員長
- (8) 比較文化研究所長
- (9) 女性学研究所長
- (10) 将来計画推進委員会副委員長
- (11) 自己点検・評価委員長
- (12) 教授会の選出に基づき、学長が委嘱する教授2名
- (13) 学長が選任する教授2名
- (14) 事務局長

- 3 大学評議会は、次に掲げる事項について学長が理事会に建議するに当たり審議し、意見を述べるものとする。

- (1) 東京女子大学学則（以下「学則」という。）及び東京女子大学大学院学則その他重要な

規則の制定並びに改廃に関する事項

- (2) 教育研究に関する事業計画にかかわる事項
- (3) 学部、学科及び専攻並びに大学院研究科及び専攻の設置及び廃止に関する事項
- (4) 教員組織の編成方針並びに教員の採用及び昇任に関する教育研究業績の審査にかかわる事項
- (5) 大学の教育研究に関する長期展望にかかわる事項
- (6) 前5号に掲げる事項のほか、教育研究に関する重要な事項で、大学評議会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

4 大学評議会は、学長が次の事項について決定するに当たり審議し、意見を述べるものとする。

- (1) 教育課程の編成方針に関する事項
- (2) 学生の厚生補導の基本方針
- (3) その他学部及び大学院に共通する教育研究に関する重要事項及び学長の諮問する事項

#### 第8条の2 学部に教授会を置く。

2 教授会は、教授、准教授及び講師をもって組織する。

3 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議し、意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 前2号に掲げる事項のほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長又は学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長又は学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

### 第5章 教育課程及び卒業の要件

#### 第9条 授業科目を分けて、次のとおりとする。

カリ 全 学 共 通 ユ ラ ム	リベラル・スタディーズ	(1) 知のかけはし科目
		(2) 女性の生きる力科目
		(3) キリスト教学科目
	グローバル・シティズン シップ・スタディーズ	(4) Global Citizenship Program 科目
		(5) 第一外国語科目
		(6) 第二外国語科目
		(7) ギリシア語・ラテン語科目
	AI・データサイエ ンス・スタディーズ	(8) AI・データサイエンス科目
(9) 学科科目		
(10) 教職課程科目		
(11) 学芸員課程科目		

2 授業科目及びその単位数は別表第1のとおりとする。

第9条の2 本学は、教育上有益と認めるときは、文部科学大臣が別に定めるところにより、前条の授業を多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

2 前項の授業の方法により修得する単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち、60単位を超えないものとする。

第10条 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

第10条の2 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただ

し、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い期間において授業を行うことができる。

**第11条** 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、授業科目により、15時間の授業をもって1単位とすることができる。
- (3) 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 外国語科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

2 一の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前項各号に規定する基準により算定した時間の授業をもって1単位とする。

3 卒業論文、教育実習等については、別に定める基準による。

**第11条の2** 修業年限は4年とし、在学年限は、休学期間を除き8年とする。

2 第30条の規定により2年次に編入学又は学士入学した者の修業年限は3年とし、在学年限は、休学期間を除き6年とする。

3 第30条の規定により3年次に編入学又は学士入学した者の修業年限は2年とし、在学年限は、休学期間を除き4年とする。

**第12条** 修得すべき授業科目と単位数は、次のとおりとする。

全学共通カリキュラム	リベラル・スタディーズ	知のかけはし科目	選択必修科目	8単位
		女性の生きる力科目	必修科目	1単位
		キリスト教学科目	必修科目	4単位
	グローバル・シティズンシップ・スタディーズ	第一外国語科目	国際英語学科 必修科目	8単位
			人文学科 国際社会学科 心理・コミュニケーション学科 数理科学科 必修科目	10単位
		第二外国語科目	選択必修科目	3単位
AI・データサイエンス・スタディーズ	AI・データサイエンス科目	必修科目	4単位	
学科科目(自学科)		必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて 国際英語学科 64単位 人文学科 64単位 国際社会学科 64単位 心理・コミュニケーション学科 64単位 数理科学科 68単位		
自由選択科目				

国際英語学科	32 単位
人文学科	30 単位
国際社会学科	30 単位
心理・コミュニケーション学科	30 単位
数理科学科	26 単位
総 計	124 単位

2 外国人正規課程留学生が修得すべき授業科目と単位数は、別に定める。

**第13条** 学生は、毎年所定期間内に履修しようとする授業科目を登録しなければならない。

2 1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、原則として40単位とする。

**第14条** 単位の認定は、試験による。

2 授業科目を履修し、試験に合格した者には、単位を与える。

3 試験の種類は、定期試験及び定期試験以外の方法（レポート、授業時に行う随時の試験等）とする。ただし、卒業論文の試験方法は、論文審査及び口述試験によるものとし、Final Presentationの試験方法は、Presentation Essayに基づく口頭発表の審査による。

4 第32条に定める学費を未納の者は、前項に定める試験を受けること及び卒業論文又はFinal PresentationにおけるPresentation Essayを提出することができない。ただし、やむをえない事情により延納又は分納の手続を行った場合はこの限りではない。

**第15条** 授業科目の成績評価は、S、A、B、C、Fの5段階で表し、S、A、B、Cを合格、Fを不合格とする。

**第15条の2** 本学が教育上有益と認めるときは、他の大学等において修得した次の単位等について、合わせて60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。

(1) 本学と日本国内外の他の大学との協定に基づき、当該大学において履修した授業科目の単位

(2) 第27条の2により、外国の大学において履修した授業科目の単位

(3) 本学が外国の大学とあらかじめ協議の上当該大学において実施する語学研修及び教養講座における学修、並びに本学があらかじめ認めた外国の大学が実施する語学研修における学修

(4) 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において履修した授業科目の単位

(5) 文部科学大臣が別に定める技能審査等における成果に係る学修で、本学が大学教育に相当する水準を有すると認めたもの

**第16条** 4年以上在学して所定科目につき124単位以上を修得した者に、教授会の議を経て、学長がその意向を参酌して卒業を認定し、学士の学位を授与する。

**第17条** 現代教養学部の国際英語学科、人文学科、国際社会学科及び心理・コミュニケーション学科を卒業した者に学士（教養）、数理科学科を卒業した者に学士（理学）の学位を授与する。

**第17条の2** 教育職員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 教育職員免許状授与資格を取得させるための課程として認定を受けた学科並びに免許状の種類及び教科は、次のとおりとする。

免許状の種類	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
--------	------------	-------------

学 科	国際英語学科	外国語(英語)	外国語(英語)
	人文学科	宗教 国語 社会	宗教 国語 地理歴史 公民
	国際社会学科	社会	地理歴史 公民
	数理科学科	数学	数学 情報

**第17条の3** 学芸員の資格を取得しようとする者は、学芸員資格取得のために必要な授業科目の単位を修得しなければならない。

2 学芸員資格取得のために必要な授業科目及びその単位数は、別に定める。

**第17条の4** 本学に日本語教員養成課程を置く。

2 日本語教員養成課程修了のために必要な授業科目及びその単位数は、別に定める。

**第17条の5** 心理・コミュニケーション学科心理学専攻の学生で、公認心理師の受験資格を取得しようとする者は、公認心理師法（平成27年法律第68号）及び公認心理師法施行規則（平成29年文部科学省・厚生労働省令第3号）に定める所要の科目について単位を修得しなければならない。

## 第6章 学年、学期及び休業日

**第18条** 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

**第19条** 学年を分けて、次の2学期とする。

- (1) 前期 4月1日から9月20日まで
- (2) 後期 9月21日から翌年3月31日まで

2 前項に定める前期の終了日及び後期の開始日については、学長が年度により変更することができる。

**第20条** 定期休業は、次のように定める。

- (1) 土曜日
- (2) 日曜日
- (3) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (4) 創立記念日 4月30日
- (5) 夏期休業
- (6) 冬期休業

2 前項第5号及び第6号の休業日の期間は、年度により学長が別に定める。

3 必要がある場合は、学長は、第1項の休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

## 第7章 入学、休学、転学科、退学及び外国留学

**第21条** 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別の必要がある場合は、入学の時期を後期の始めとすることができる。

**第22条** 本学に入学することのできる者は、次のとおりとする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

**第23条** 入学志願者は、所定の書類に入学検定料を添えて願い出なければならない。

2 入学検定料の額は別表第2のとおりとする。

**第24条** 入学志願者に対しては、選抜試験を行う。

**第24条の2** 本学に推薦入学制度を設ける。

2 推薦入学に関する規定は別に定める。

**第25条** 選抜試験に合格した者は、所定の納入金を納めて入学の許可を得なければならない。

**第26条** 入学を許可された者は、所定の誓約書、保証人連署の保証書及び住民票の写しを提出しなければならない。

2 保証人は、父母又はこれに代わる成年者で、学生在学中の一切の責任を負うものとする。

**第27条** 病気その他やむをえない事由により修学できないときは、学期又は学年を単位として休学を願い出ることができる。

2 休学しようとする者は、保証人連署の上その事由を記して願い出て許可を得なければならない。

3 休学は、当該学年限りとする。ただし、事由のある場合は、引き続き休学を願い出ることができる。

4 休学期間は、通算2年を限度とする。

5 休学期間は、在学年数に算入しない。

6 休学者は、学年又は学期の始めでなければ、復学することができない。

7 休学者は、許可された休学期間の末日までに復学を願い出て許可を得なければならない。

8 休学及び復学に関する規定は、別に定める。

**第27条の2** 本学が教育上有益と認めるときは、休学することなく外国の大学に留学することを許可することがある。

2 留学に関する規定は、別に定める。

**第28条** 退学しようとする者は、保証人連署の上その事由を記して願い出て許可を得なければならない。

2 退学に関する規定は、別に定める。

**第29条** 願いにより退学した者が所定の期限内に再入学を願い出たときは、選考の上、その翌年度における再入学を許可することがある。

2 再入学に関する規定は、別に定める。

**第29条の2** 他大学に在学する者で、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、教授会の審議を経て学長がその意見を徴し、相当年次に転入学を許可することがある。

2 転入学の志願及び入学手続きについては、第23条、第24条、第25条及び第26条を準用する。

3 第1項の規定により入学した者の入学前に修得した単位及び在学年数の全部又は一部を本学で修得した単位及び在学年数として認定又は換算することができる。

**第30条** 編入学又は学士入学を志望する者に対しては、選考の上、許可することがある。

2 この学則に定めるものの他、編入学及び学士入学について必要な事項は、別に定める規程による。

**第30条の2** 転学科を願い出た者には、選考の上、これを認めることがある。

2 転学科に関する規定は、別に定める。

**第31条** 次の各号のいずれかに当たる者は、教授会の議を経て、学長がその意向を参酌して除籍する。

- (1) 学業成績不良で成業の見込がないと認めた者
- (2) 正当の理由がなくて3か月以上修学しない者
- (3) 在学年数が8年を超える者。ただし、休学期間を加算しない。
- (4) 所定の授業料、教育充実費又は在籍料の未納が1学期に及び、督促しても納入しない者

## 第8章 入学金、学費、在籍料及びその他納入金、並びに奨学金

**第32条** 授業料及び教育充実費（以下「学費」という。）は、年額を2回に分け、毎学期始め指定期日以内に納入しなければならない。

**第33条** 1学期を通じて休学する者に対しては、所定の在籍料を徴収する。ただし、中途復学者は、その学期の学費を納めなければならない。

**第34条** 入学金、学費及び在籍料の額は、別表第2のとおりとする。

2 学費、在籍料及びその他納入金の取り扱いについては、別に定める。

3 一旦納入した入学金、学費、在籍料及びその他納入金は、返還しない。

**第34条の2** 本学の奨学金については、別に定める。

## 第9章 研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び外国人留学生

**第35条** 大学を卒業した女子が研究事項を定めて本学で研究することを願い出たときは、選考の上、研究生としてこれを許可することがある。

**第36条** 研究生規程は、別に定める。

**第36条の2** 本学所定の授業科目中、その1科目又は数科目の履修を願い出る者があるときは、授業に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として履修を許可することがある。

2 科目等履修生は、履修した授業科目について試験を受け合格した場合には、単位を修得することができる。

**第36条の3** 科目等履修生規程は、別に定める。

**第37条** 本学所定の授業科目中、その1科目又は数科目の聴講を願い出る者があるときは、授業に支障のない場合に限り、聴講生として聴講を許可することがある。

**第38条** 聴講生規程は、別に定める。

**第38条の2** 本学と協定のある日本国内の大学に在籍する学生で、本学所定の授業科目の履修を願い出る者があるときは、授業に支障のない場合に限り、選考の上、特別聴講学生としてその科目の履修を許可することがある。

2 特別聴講学生は、履修した授業科目について試験を受け合格した場合には、単位を修得することができる。

3 特別聴講学生の受入れ手続及び学費等の取扱いについては、当該大学との協定等による。

**第39条** 日本国籍を有しない者で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学で学修しようとする者については、外国人留学生として受け入れることができる。

**第40条** 外国人留学生規程は、別に定める。

## 第10章 教育研究施設及び公開講座

**第41条** 本学に次の施設を設ける。

- (1) 東京女子大学図書館
- (2) 東京女子大学比較文化研究所
- (3) 東京女子大学女性学研究所
- (4) 東京女子大学情報処理センター
- (5) 東京女子大学心理臨床センター



(6) 東京女子大学英語センター

(7) 東京女子大学AI・データサイエンス教育研究センター

**第42条** 前条の施設は、別に定める規程により運用する。

**第43条** 本学は、一定の講座を公開することがある。

**第44条** 公開講座は、成人教育及び一般公衆の文化向上を目的とし、これを開設する。

### 第11章 学寮及び保健施設

**第45条** 本学に学寮を設け、寮監を置く。

**第46条** 学寮は、別に定める規程により運営する。

**第47条** 本学に保健室を設け、健康診断を行うとともに健康相談に応じ、必要ある場合は応急処置をなす。

### 第12章 賞罰

**第48条** 品行方正、学力優秀な者又は奇特の行為があった者は、教授会の議を経て、学長がその意向を参酌して表彰することがある。

**第49条** 本学の教育方針に違反し、学生の本分にもとる行為のある者は、教授会の議を経て、学長がその意向を参酌して懲戒することがある。

2 懲戒は、訓戒、停学及び退学の3種とする。

3 退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがない者

(2) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

### 第13章 改廃手続

**第50条** この学則の改廃は、大学評議会の審議を経て、学長がその意見を徴し理事会に提案して、理事会が決定する。ただし、第8条の2第3項にかかわる改廃については、教授会の審議を経て、学長がその意見を徴するものとする。

**附 則**(1948年3月25日制定)

この学則は、1948年4月1日から施行する。

**附 則**(1950年3月1日改正)

この学則は、1950年4月1日から施行する。

**附 則**(1951年1月31日改正)

この学則は、1951年4月1日から施行する。

**附 則**(1954年2月15日改正)

この学則は、1954年4月1日から施行する。

**附 則**(1958年2月28日改正)

この学則は、1958年4月1日から施行する。

**附 則**(1961年3月10日改正)

この学則は、1961年4月1日から施行する。

**附 則**(1965年9月15日改正)

この学則は、1966年4月1日から施行する。

**附 則**(1971年1月29日改正)

この学則は、1971年4月1日から施行する。

**附 則**(1975年11月28日改正)

この学則は、1976年4月1日から施行する。

**附 則**(1985年2月22日改正)

この学則は、1985年4月1日から施行する。

**附 則**(1985年3月29日改正)

この学則は、1985年4月1日から施行する。

**附 則**(1986年5月30日改正)

この学則は、1986年5月30日から施行する。

**附 則**(1987年1月30日改正)

この学則は、1987年4月1日から施行する。

**附 則**(1987年4月1日改正)

この学則は、1987年4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、1987年度から1993年度までの間、文理学部の入学定員は、次のとおりとする。

学 部 、 学 科 等	入 学 定 員
文 理 学 部	
哲 学 科	30名
日 本 文 学 科	110名
英 米 文 学 科	165名
史 学 科	110名
社 会 学 科	110名
心 理 学 科	65名
数 理 学 科	60名
計	650名

**附 則**(1988年1月29日改正)

この学則は、1988年4月1日から施行する。

**附 則**(1989年3月24日改正)

この学則は、1989年4月1日から施行する。

**附 則**(1989年7月21日改正)

この学則は、1990年4月1日から施行する。

**附 則**(1989年9月22日改正)

この学則は、1990年4月1日から施行する。

**附 則**(1990年3月16日改正)

この学則は、1990年4月1日から施行する。

**附 則**(1990年7月20日改正)

この学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、第17条の2第2項の規定は、1990年度入学者及び1992年度編入学者から適用する。なお、1989年度以前入学者及び1991年度以前編入学者については、高等学校教諭一種免許状の教科「地理歴史・公民」を「社会」と読みかえる。

**附 則**(1991年3月15日改正)

この学則は、1991年4月1日から施行する。

**附 則**(1992年1月17日改正)

この学則は、1992年4月1日から施行する。ただし、第17条の規定は、1991年7月1日から適用する。

**附 則**(1992年2月21日改正)

この学則は、1992年4月1日から施行する。

**附 則**(1992年10月15日改正)

この学則は、1993年4月1日から施行する。

**附 則**(1992年11月19日改正)

この学則は、1993年4月1日から施行する。

**附 則**(1993年2月23日改正)

この学則は、1993年4月1日から施行する。

**附 則**(1993年12月21日改正)

この学則は、1994年4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、1994年度から

1999年度までの間、文理学部の入学定員は、次のとおりとする。

学 部 、 学 科 等	入 学 定 員
文 理 学 部	
哲        学        科	30名
日 本 文 学 科	110名
英 米 文 学 科	165名
史        学        科	110名
社 会 学 科	110名
心 理 学 科	65名
数 理 学 科	60名
計	650名

**附 則**(1994年2月17日改正)

この学則は、1994年4月1日から施行する。

**附 則**(1995年2月16日改正)

この学則は、1995年4月1日から施行する。ただし、第17条の3の規定は、1996年度2年次在籍者から適用する。

**附 則**(1995年12月14日改正)

この学則は、1996年4月1日から施行する。ただし、第9条、第11条、第12条及び第16条の規定は、1996年度1年次在籍者から適用する。

**附 則**(1996年2月29日改正)

この学則は、1996年4月1日から施行する。

**附 則**(1996年12月19日改正)

この学則は、1997年4月1日から施行する。

**附 則**(1997年1月23日改正)

この学則は、1997年4月1日から施行する。

**附 則**(1997年12月18日改正)

この学則は、1998年4月1日から施行する。

**附 則**(1998年12月17日改正)

この学則は、1999年4月1日から施行する。

**附 則**(1999年12月22日改正)

この学則は、2000年4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、文理学部の入学定員は2000年度から2004年度までの間、収容定員は2000年度から2007年度までの間、次のとおりとする。

学 部、学 科 等	入 学 定 員				
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
文 理 学 部					
哲        学        科	30 名	30 名	30 名	30 名	30 名
日 本 文 学 科	109 名	108 名	107 名	106 名	105 名
英 米 文 学 科	164 名	163 名	162 名	161 名	160 名
史        学        科	110 名	110 名	110 名	110 名	110 名
社 会 学 科	110 名	110 名	110 名	110 名	110 名
心 理 学 科	65 名	65 名	65 名	65 名	65 名
数 理 学 科	60 名	60 名	60 名	60 名	60 名
計	648 名	646 名	644 名	642 名	640 名

学部、学科等	収 容 定 員				
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
文 理 学 部					
哲 学 科	120 名	120 名	120 名	120 名	120 名
日 本 文 学 科	439 名	437 名	434 名	430 名	426 名
英 米 文 学 科	659 名	657 名	654 名	650 名	646 名
史 学 科	440 名	440 名	440 名	440 名	440 名
社 会 学 科	440 名	440 名	440 名	440 名	440 名
心 理 学 科	260 名	260 名	260 名	260 名	260 名
数 理 学 科	240 名	240 名	240 名	240 名	240 名
計	2,598 名	2,594 名	2,588 名	2,580 名	2,572 名

学部、学科等	収 容 定 員		
	2005年度	2006年度	2007年度
文 理 学 部			
哲 学 科	120 名	120 名	120 名
日 本 文 学 科	418 名	411 名	405 名
英 米 文 学 科	633 名	621 名	610 名
史 学 科	430 名	420 名	410 名
社 会 学 科	430 名	420 名	410 名
心 理 学 科	255 名	250 名	245 名
数 理 学 科	230 名	220 名	210 名
計	2,516 名	2,462 名	2,410 名

**附 則**(2000年1月20日改正)

この学則は、2000年4月1日から施行する。

**附 則**(2000年3月21日改正)

この学則は、2000年4月1日から施行する。ただし、第17条の2第2項の規定は、2000年度入学者から適用する。

**附 則**(2001年1月25日改正)

この学則は、2001年4月1日から施行する。

**附 則**(2001年2月22日改正)

この学則は、2001年2月22日から施行し、2001年1月6日から適用する。

**附 則**(2002年1月24日改正)

この学則は、2002年4月1日から施行する。

**附 則**(2002年2月21日改正)

この学則は、2002年4月1日から施行する。

**附 則**(2002年3月11日改正)

この学則は、2002年4月1日から施行する。ただし、第17条の2第2項の規定は、2002年度入学者から適用する。

**附 則**(2002年5月16日改正)

この学則は、2002年5月16日から施行する。

**附 則**(2003年1月16日改正)

この学則は、2003年4月1日から施行する。ただし、改正後の第9条、第10条、第11条、第11条の2、第12条、第13条、第15条の2、第17条の4、第27条、第30条及び第31条第3号の規定は、2003年度以降の入学者に適用し、2002年度以前の入学者については従前の学則による。

**附 則**(2003年4月17日改正)

この学則は、2003年4月17日から施行し、2003年4月1日から適用する。

**附 則**(2003年7月31日改正)

この学則は、2004年4月1日から施行する。ただし、第5条の規定にかかわらず、収容定員は2004年度から2006年度までの間、次のとおりとする。

学部、学科等	収 容 定 員		
	2004年度	2005年度	2006年度
文 理 学 部			
哲 学 科	120 名	120 名	120 名
日 本 文 学 科	421 名	413 名	406 名
英 米 文 学 科	621 名	593 名	566 名
史 学 科	430 名	420 名	410 名
社 会 学 科	440 名	440 名	440 名
心 理 学 科	275 名	290 名	305 名
数 理 学 科	240 名	240 名	240 名
(計)	2,547 名	2,516 名	2,487 名
現代文化学部			
コミュニケーション学科	335 名	350 名	365 名
地域文化学科	365 名	370 名	375 名
言語文化学科	325 名	330 名	335 名
(計)	1,025 名	1,050 名	1,075 名
総 計	3,572 名	3,566 名	3,562 名

**附 則**(2003年10月16日改正)

この学則は、2004年4月1日から施行する。

**附 則**(2003年12月18日改正)

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。ただし、別表第2(第23条第2項及び第34条第1項関係)は、2003年12月18日から施行する。
- 2 附則(1999年12月22日改正)の2004年度入学定員及び2007年度収容定員は、これを適用しない。

**附 則**(2004年7月15日改正)

この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、別表第1の2(第17条の4第2項関係)は、2004年7月15日から施行する。

**附 則**(2004年11月18日改正)

この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(1)共通科目に係る部分は、2004年度以降の入学者に適用し、2003年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則**(2005年3月10日改正)

この学則は、2005年4月1日から施行する。

**附 則**(2005年7月21日改正)

この学則は、2006年4月1日から施行する。

**附 則**(2005年12月15日改正)

この学則は、2006年4月1日から施行する。

**附 則**(2006年12月21日改正)

この学則は、2007年4月1日から施行する。

**附 則**(2007年3月16日改正)

この学則は、2007年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(6)学科科目ア文理学部(キ)数理学科に係る部分及び第17条の2第2項については、2006年度以降の入学者に適用し、2005年度以前の入学者については、従前の学則による。また、改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(8)教職課程科目に係る部分については、2007年度以降の入学者に適用し、2006年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則**(2007年12月20日改正)

この学則は、2008年4月1日から施行する。

**附 則**(2008年2月21日改正)

- 1 この学則は、2009年4月1日から施行する。
- 2 文理学部哲学科、日本文学科、英米文学科、史学科、社会学科、心理学科及び数理学科並びに現代文化学部コミュニケーション学科、地域文化学科及び言語文化学科は、改正後の第3条、第4条及び第5条の規定にかかわらず、当該学部学科に2009年3月31日に在学する者が、在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 改正後の学則第17条の規定にかかわらず、文理学部哲学科、日本文学科、英米文学科、史学科、社会学科、心理学科を卒業した者には学士（文学）、数理学科を卒業した者には、学士（理学）、現代文化学部を卒業した者には学士（現代文化）の学位を授与する。
- 4 改正後の第3条、第12条、第17条の2、第30条の2、別表第1及び別表第1の2については、2009年度以降の入学者に適用し、2008年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則**(2008年12月24日改正)

- 1 この学則は、2009年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1については、2009年度以降の入学者に適用し、2008年度以前の入学者については、2007年12月20日改正の学則による。

**附 則**(2009年1月15日改正)

この学則は、2009年4月1日から施行する。

**附 則**(2009年2月19日改正)

この学則は、2009年4月1日から施行する。

**附 則**(2010年1月21日改正)

この学則は、2010年4月1日から施行する。

**附 則**(2010年1月25日改正)

- 1 この学則は、2010年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1については、2010年度以降の入学者に適用し、2009年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則**(2011年1月20日改正)

この学則は、2011年4月1日から施行する。

**附 則**(2011年4月21日改正)

この学則は、2011年4月21日から施行し、2011年4月1日から適用する。

**附 則**(2011年12月15日改正)

この学則は、2012年4月1日から施行する。

**附 則**(2012年3月26日改正)

- 1 この学則は、2012年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1(第9条第3項関係)の(9)学芸員課程科目に係る部分は、2012年度以降の入学者に適用し、2011年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則**(2012年9月20日改正)

- 1 この学則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1(第9条第3項関係)については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則**(2012年12月20日改正)

- 1 この学則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1の2(第17条の4第2項関係)については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則**(2013年9月19日改正)

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1(第9条第3項関係)については、2014年度以降の入学者に適用し、2013年

度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則**(2014年1月16日改正)

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1（第9条第3項関係）の（1）総合教養科目に係る部分については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。
- 3 改正後の別表第1（第9条第3項関係）の（6）学科科目及び（7）教職特設科目に係る部分並びに別表第1の2（第17条の4第2項関係）については、2014年度以降の入学者に適用し、2013年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則**(2014年7月17日改正)

この学則は、2014年7月17日から施行する。

**附 則**(2015年1月15日改正)

この学則は、2015年4月1日から施行する。

**附 則**(2016年1月21日改正)

この学則は、2016年4月1日から施行する。

**附 則**(2016年2月18日改正)

- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1（第9条第3項関係）の（1）総合教養科目に係る部分については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則**(2016年4月21日改正)

この学則は、2016年4月21日から施行する。

**附 則**(2016年9月15日改正)

この学則は、2016年9月15日から施行する。

**附 則**(2016年12月15日改正)

この学則は、2017年4月1日から施行する。

**附 則**(2017年2月16日改正)

- 1 この学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1（第9条第3項関係）の（1）総合教養科目及び（3）外国語科目に係る部分については、2013年度以降の入学者に適用し、2012年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則**(2017年3月9日改正)

- 1 この学則は、2018年4月1日から施行する。
- 2 人文学科の英語文学文化専攻及び史学専攻は、改正後の第4条の規定にかかわらず、当該専攻に2018年3月31日に在学する者が、在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 人間科学科の心理学専攻、コミュニケーション専攻及び言語科学専攻は、改正後の第4条及び第5条の規定にかかわらず、当該学科に2018年3月31日に在学する者が、在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 4 改正後の第17条の規定にかかわらず、人間科学科を卒業した者には学士（教養）の学位を授与する。
- 5 改正後の第9条、第12条、第17条の2、別表第1及び別表第1の2については、2018年度以降の入学者に適用し、2017年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則**(2017年12月21日改正)

- 1 この学則は、2018年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1（第9条第3項関係）については、2018年度以降の入学者に適用し、2017年度以前の入学者については、従前の学則による。
- 3 前項の規定にかかわらず、2017年度以前の入学者のうち、2013年度以降入学者については、別表第1(第9条第3項関係)の(1)総合教養科目 人間と自然科学領域の次の5科目を適用する。

「代数と幾何の基礎」「代数と幾何の考え方とその応用」「微分と積分の基礎」

「微分と積分の考え方とその応用」「確率統計の基礎」

**附 則**(2019年2月21日改正)

この学則は、2019年4月1日から施行する。ただし改正後の別表第1（第9条第2項関係）は2018年度以降の入学者に適用し、2017年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則** (2019年3月14日改正)

この学則は、2019年4月1日から施行する。ただし改正後の別表第1（第9条第2項関係）の（8）教職課程科目に係る部分については、2019年度以降の入学者に適用し、2018年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則** (2020年1月16日改正)

この学則は、2020年4月1日から施行する。ただし改正後の第17条の5の規定は、2018年度入学者から適用する。

**附 則** (2020年6月18日改正)

この学則は、2020年6月18日から施行する。ただし改正後の別表第1（第9条第2項関係）は、2018年度入学者から適用する。

**附 則** (2021年4月15日改正)

この学則は、2021年4月15日から施行し、2021年4月1日から適用する。ただし、第5条は、2022年4月1日から施行する。第5条の規定にかかわらず、収容定員は2022年度から2024年度までの間、次のとおりとする。

学 部、学 科 等	収 容 定 員		
	2022 年度	2023 年度	2024 年度
現 代 教 養 学 部			
国 際 英 語 学 科	595 名	570 名	545 名
人 文 学 科	805 名	810 名	815 名
国 際 社 会 学 科	1,094 名	1,108 名	1,122 名
心 理 ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	785 名	790 名	795 名
数 理 科 学 科	281 名	282 名	283 名
(計)	3,560 名	3,560 名	3,560 名

**附 則** (2022年2月17日改正)

この学則は、2022年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第1（第9条2項関係）の（2）挑戦する知性科目に係る部分は、2021年度以降の入学者に適用し、2020年度以前の入学者については、従前の学則による。また、改正後の別表第1（第9条2項関係）の（7）学科科目エ心理・コミュニケーション学科及び（8）教職課程科目に係る部分については2022年度以降の入学者に適用し、2021年度以前の入学者については、従前の学則による。

**附 則** (2023年3月10日改正)

この学則は、2023年4月1日から施行する。

**附 則** (2023年4月20日改正)

- 1 この学則は、2023年4月20日から施行し、2023年4月1日から適用する。
- 2 別表第1（第9条第2項関係）（10）教職課程科目に係る部分は、2022年2月17日改正時附則にかかわらず、2019年度以降の入学者に適用する。
- 3 第1項にかかわらず、別表第1（第9条第2項関係）（10）教職課程科目及び別表第2（第23条第2項及び第34条第1項関係）に係る部分を除き、2024年4月1日から適用する。改正後の第4条第6項、第5条、第9条、第12条、第13条、第16条及び別表第1（第9条第2項関係。ただし、（10）教職課程科目を除く。）については、2024年度以降の入学者に適用し、2023年度以前の入学者については、従前の学則による。ただし、現代教養学部の収容定員は、第5条の規定にかかわらず、2024年度から2026年度までの間、次のとおりとする。



学部、学科等	収容定員		
	2024年度	2025年度	2026年度
現代教養学部			
国際英語学科	490名	460名	430名
人文学科	820名	820名	820名
国際社会学科	1,136名	1,136名	1,136名
心理・コミュニケーション学科	800名	800名	800名
数理学科	284名	284名	284名
(計)	3,530名	3,500名	3,470名

4 前項にかかわらず、改正後の別表第1（第9条第2項関係）に定める以下の科目については2018年度から2023年度入学者にも適用する。

知のかけはし科目人文社会横断型AからZ及び自然科学包含型AからI

消費者行動論、人的資源管理論、アクティブラーニング実習（経済経営）1及び2

5 第3項にかかわらず、別表第2（第23条第2項及び第34条第1項関係）に係る部分は、2024年4月1日から適用する。

別表第1（第9条第2項関係）

授業科目及び単位数

(1) 知のかげはし科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・ 選択の別	履修年次
人文社会横断型A	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型B	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型C	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型D	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型E	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型F	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型G	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型H	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型I	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型J	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型K	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型L	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型M	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型N	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型O	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型P	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型Q	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型R	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型S	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型T	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型U	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型V	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型W	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型X	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型Y	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型Z	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型A	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型B	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型C	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型D	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型E	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型F	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型G	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4

自然科学包含型 H	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型 I	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4

- 注1 選択必修\*1から2科目4単位、選択必修\*2から1科目2単位を含め4科目8単位を必修とする。  
 2 1・2年次が履修できる「知のかけはし科目」単位数の上限は、既修得単位と合わせて6単位とする。  
 3 3年次が履修できる「知のかけはし科目」単位数の上限は、既修得単位と合わせて8単位とする。  
 4 4年次が履修できる「知のかけはし科目」単位数の上限は、既修得単位と合わせて10単位とする。

(2) 女性の生きる力科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
女性学・ジェンダーを学ぶ	1	2	2	選択	1・2・3・4
女性のキャリア形成	1	2	2	選択	1・2・3・4
女性と社会	1	2	2	選択	1・2・3・4
女性のウェルビーイング	1	2	2	選択	1・2・3・4
女性の起業	1	2	2	選択	2・3・4
日本国憲法	1	2	2	選択	1・2・3・4
ケンブリッジ教養講座	2	2	2	選択	2・3・4
女性のウェルネス・身体運動	1	2	1	必修	1
からだの科学	1	2	2	選択	2・3・4
発育と発達	1	2	2	選択	2・3・4
栄養と健康	1	2	2	選択	2・3・4
性と生命(セクソロジー)	1	2	2	選択	2・3・4
女性の心身コンディショニング	1	2	2	選択	2・3・4
<b>実践</b>					
スポーツ A	1	2	1	選択	2・3・4
スポーツ B	1	2	1	選択	2・3・4
スポーツ C	1	2	1	選択	2・3・4
スポーツ D	1	2	1	選択	2・3・4
フィジカルエクササイズ A	1	2	1	選択	2・3・4
フィジカルエクササイズ B	1	2	1	選択	2・3・4
フィジカルエクササイズ C	1	2	1	選択	2・3・4
身体表現A	1	2	1	選択	2・3・4
身体表現B	1	2	1	選択	2・3・4
身体表現 C	1	2	1	選択	2・3・4

(3) キリスト教学科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・ 選択の別	履修年次
<b>基礎</b>					
キリスト教学入門 I	1	2	2	必修	1

キリスト教学入門Ⅱ	1	2	2	必修	1
<b>発展</b>					
キリスト教学概論	1	2	2	選択	2・3・4
聖書の世界	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教と倫理	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教の歴史	1	2	2	選択	2・3・4
日本のキリスト教	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教の思想・文化	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教と諸宗教	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教と芸術	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教と音楽	1	2	2	選択	1・2・3・4
キリスト教学講読	1	2	2	選択	2・3・4

#### (4) Global Citizenship Program科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
Integrated English A	0.5	4	1	選択必修	1
Integrated English B	0.5	4	1	選択必修	1
Integrated English C	0.5	4	1	選択必修	1
Integrated English D	0.5	4	1	選択必修	1
Global Studies Seminar A	1	2	2	選択必修	1
Global Studies Seminar B	1	2	2	選択必修	1
<以下の6科目はGlobal Citizenship Program登録者のみ履修できる>					
Global Liberal Arts A	0.5	4	2	必修	2・3・4
Global Liberal Arts B	0.5	4	2	必修	2・3・4
Study Abroad Preparatory English	1	2	1	必修	2
Post-SA Research Seminar	1	2	2	必修	3
Global Citizenship Workshop I	1	2	2	必修	4
Global Citizenship Workshop II	1	2	2	必修	4

注1 「\*」印の科目は入学時に実施するプレイスメントテストの結果に基づき基準を超えている者を履修対象とする。

2 「\*\*」印の科目はGlobal Citizenship Program登録者のみ履修できる。

3 「Integrated English A」または「Integrated English B」1単位、「Integrated English C」または「Integrated English D」1単位、「Global Studies Seminar A」2単位、「Global Studies Seminar B」2単位、「Global Liberal Arts A」2単位、「Global Liberal Arts B」2単位は、第一外国語科目の下記の各単位に代えることができる。

「Integrated English A」または「Integrated English B」1単位および「Global Studies Seminar A」2単位の合計3単位

→「Academic Discussion Skills A」1単位、「Academic Reading Skills A」1単位及び「Academic Writing Skills I」1単位の合計3単位

「Integrated English C」または「Integrated English D」1単位および「Global Studies Seminar B」の合計3単位

→「Academic Discussion Skills B」1単位、「Academic Reading Skills B」1単位、「Academic Writing Skills II」1単位の合計3単位

「Global Liberal Arts A」2単位及び「Global Liberal Arts B」2単位の合計4単位

→「Exploring Content: Listening/Speaking A」1単位、「Exploring Content: Listening/Speaking B」1単位、「Exploring Content: Reading/Writing A」1単位及び「Exploring Content: Reading/Writing B」1単位の合計4単位

(5) 第一外国語科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位 数	必修・選択必修・ 選択の別	履修年次
Academic Discussion Skills A	1	2	1	必修	1
Academic Discussion Skills B	1	2	1	必修	1
Academic Reading Skills A	1	2	1	必修	1
Academic Reading Skills B	1	2	1	必修	1
Academic Writing Skills I	1	2	1	必修	1
Academic Writing Skills II	1	2	1	必修	1
Exploring Content: Listening/Speaking A	1	2	1	必修	2
Exploring Content: Listening/Speaking B*	1	2	1	必修	2
Exploring Content: Reading/Writing A	1	2	1	必修	2
Exploring Content: Reading/Writing B*	1	2	1	必修	2
Presenting Research	1	2	2	選択	2・3・4
Writing Research Papers	1	2	2	選択	2・3・4
Media Literacy	1	2	1	選択	2・3・4
IELTS	1	2	1	選択	1・2・3・4
English through Literature and Drama	1	2	2	選択	2・3・4
Topics in Language Study	1	2	2	選択	2・3・4
Topics in Arts and Sciences	1	2	2	選択	2・3・4
Business/Employability English	1	2	1	選択	2・3・4
Pronunciation	1	2	1	選択	1・2・3・4
英語音声学	1	2	2	選択	1・2・3・4
Extensive Reading	1	2	1	選択	2・3・4
Study Skills	1	2	1	選択	1
Intensive English	2	2	2	選択	1・2・3・4
<以下の2科目は外国人留学生のみ履修できる>					
日本語Ⅰ（入門）**	1	8	4	必修	1
日本語Ⅱ（応用）**	1	8	4	必修	1

注1 国際英語学科の学生は、「\*」印の「Exploring Content: Listening/Speaking B」、「Exploring Content: Reading/Writing B」の2科目計2単位の履修を免除する。

2 「Study Skills」は、入学時に実施するプレイスメントテストの結果に基づき、指示のあった者を履修対象とする。

3 Global Citizenship Program科目の履修を認められた者はGlobal Citizenship Program科目のうち次の科目の単位を、下記の通り第一外国語科目の単位に代えることができる。

「Integrated English A」または「Integrated English B」1単位および「Global Studies Seminar A」2単位の合計3単

位

→ 「Academic Discussion Skills A」 1単位、「Academic Reading Skills A」 1単位及び「Academic Writing Skills I」 1単位の合計3単位

「Integrated English C」 または 「Integrated English D」 1単位および「Global Studies Seminar B」 の合計3単位

→ 「Academic Discussion Skills B」 1単位、「Academic reading skills B」 1単位、「Academic Writing Skills II」 1単位の合計3単位

「Global Liberal Arts A」 2単位及び「Global Liberal Arts B」 2単位の合計4単位

→ 「Exploring Content: Listening/Speaking A」 1単位、「Exploring Content: Listening/Speaking B」 1単位、「Exploring Content: Reading/Writing A」 1単位及び「Exploring Content: Reading/Writing B」 1単位の合計4単位

4 \*\*印の科目は外国人留学生のみ履修できる。

5 外国人正規課程留学生は、上記の定めによらず、\*\*印の「日本語Ⅰ(入門)」及び「日本語Ⅱ(応用)」の2科目計8単位を第一外国語の必修単位とする。

#### (6) 第二外国語科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・ 選択の別	履修年次
ドイツ語初級1	1	4	2	選択必修	1・2・3・4
フランス語初級1	1	4	2	選択必修	1・2・3・4
スペイン語初級1	1	4	2	選択必修	1・2・3・4
中国語初級1	1	4	2	選択必修	1・2・3・4
韓国語初級1	1	4	2	選択必修	1・2・3・4
ドイツ語初級2	1	2	1	選択必修	1・2・3・4
フランス語初級2	1	2	1	選択必修	1・2・3・4
スペイン語初級2	1	2	1	選択必修	1・2・3・4
中国語初級2	1	2	1	選択必修	1・2・3・4
韓国語初級2	1	2	1	選択必修	1・2・3・4
ドイツ語(読解)	1	2	1	選択	2・3・4
ドイツ語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4
ドイツ語(総合)	1	2	1	選択	2・3・4
フランス語(読解)	1	2	1	選択	2・3・4
フランス語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4
フランス語(総合)	1	2	1	選択	2・3・4
スペイン語(読解)	1	2	1	選択	2・3・4
スペイン語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4
スペイン語(総合)	1	2	1	選択	2・3・4
中国語(読解)	1	2	1	選択	2・3・4
中国語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4
中国語(総合)	1	2	1	選択	2・3・4
韓国語(読解)	1	2	1	選択	2・3・4

韓国語（会話）	1	2	1	選択	2・3・4
韓国語（総合）	1	2	1	選択	2・3・4
中国と日本の文学文化	1	2	2	選択	2・3・4
ドイツの歴史と文化	1	2	2	選択	2・3・4

注1 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の初級のうち、同一言語の初級1および初級2の2科目計3単位を修得しなければならない。

- 2 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各初級2を履修するには、同じ言語の初級1の2単位を修得していなければならない。
- 3 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各読解、会話、総合を履修するには、同じ言語の初級3単位を修得していなければならない。
- 4 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各読解、会話、総合は、同一授業科目を重ねて履修することができる。
- 5 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各初級1、初級2は、第二外国語の必修科目として履修する以外に、第三、第四、第五、第六の外国語として2年次から履修することができる。ただし、本学入学時に第二外国語の必修3単位を認定された者は、1年次から履修することができる。
- 6 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により第二外国語の必修3単位を認定された者は、認定された言語の読解、会話、総合を在籍する年次にかかわらず履修することができる。
- 7 大学以外の教育施設等における知識及び技能審査（ドイツ語技能試験、実用フランス語技能検定試験、スペイン語技能検定試験、中国語検定試験、韓国語能力試験、「ハングル」能力検定試験）の成果に係る学修により第二外国語の初級3単位を認定された者は、認定された言語の読解、会話、総合を在籍する年次にかかわらず履修することができる。
- 8 第二外国語の必修科目として履修する以外の言語について一定の条件を満たすと認められた者は、注2に定める読解、会話、総合の履修条件及び在籍する年次にかかわらず、当該言語の読解、会話、総合を履修することができる。
- 9 「中国と日本の文学文化」を履修するには、「中国語初級1」及び「中国語初級2」の2科目計3単位を修得していなければならない。
- 10 「ドイツの歴史と文化」を履修するには、「ドイツ語初級1」及び「ドイツ語初級2」の2科目計3単位を修得していなければならない。
- 11 外国人正規課程留学生は、上記の定めによらず、次の科目から指定するいずれか6単位を第二外国語の必修とする。

第一外国語（英語）の1年次必修6科目計6単位

#### (7) ギリシア語・ラテン語科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
ギリシア語初級1	1	2	1	選択	1・2・3・4
ギリシア語初級2	1	2	1	選択	1・2・3・4
ラテン語初級1	1	2	1	選択	1・2・3・4
ラテン語初級2	1	2	1	選択	1・2・3・4
ギリシア語中級	1	2	1	選択	2・3・4
ラテン語中級	1	2	1	選択	2・3・4

注1 「ギリシア語初級2」を履修するには、「ギリシア語初級1」1単位を修得していなければならない。

2 「ラテン語初級2」を履修するには、「ラテン語初級1」1単位を修得していなければならない。

- 3 「ギリシア語中級」を履修するには、「ギリシア語初級1」及び「ギリシア語初級2」の2科目計2単位を修得してならない。
- 4 「ラテン語中級」を履修するには、「ラテン語初級1」及び「ラテン語初級2」の2科目計2単位を修得してないといけない。
- 5 ギリシア語、ラテン語の各中級は、同一授業科目を重ねて履修することができる。

(8) AI・データサイエンス科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・ 選択の別	履修年 次
DSリテラシー・ICT科目					
DS・ICT入門I	1	2	2	必修	1
DS・ICT入門II	1	2	2	必修	1
DSのための数学入門	1	2	2	選択	1・2・3・4
コンピュータ・サイエンスI	1	2	2	選択	1・2・3・4
コンピュータ・サイエンスII	1	2	2	選択	1・2・3・4
情報と社会	1	2	2	選択	2・3・4
情報と職業	1	2	2	選択	2・3・4
ネットワークとセキュリティ	1	2	2	選択	2・3・4
DS基礎					
DSのための微分積分入門I	1	2	2	選択	1・2・3・4
DSのための微分積分入門II	1	2	2	選択	1・2・3・4
DSのための線形代数入門I	1	2	2	選択	1・2・3・4
DSのための線形代数入門II	1	2	2	選択	1・2・3・4
DSのための確率	1	2	2	選択	1・2・3・4
DSのための統計	1	2	2	選択	2・3・4
データ分析	1	2	2	選択	2・3・4
DS基礎	1	2	2	選択	2・3・4
DE基礎					
Rプログラミング	1	2	2	選択	1・2・3・4
Pythonプログラミング	1	2	2	選択	1・2・3・4
データハンドリングの基礎	1	2	2	選択	2・3・4
AI基礎					
機械学習の基礎	1	2	2	選択	2・3・4
データ活用実践	1	2	2	選択	2・3・4



AI基礎 (人文)	1	2	2	選択	2・3・4
AI基礎 (国際・経営)	1	2	2	選択	2・3・4
AI基礎 (心理・社会)	1	2	2	選択	2・3・4

注1 AI・データサイエンス科目の選択科目を履修するには、「DS・ICT入門I」を履修していなければならない。ただし、「コンピュータ・サイエンスI」及び「コンピュータ・サイエンスII」は、当該履修条件にかかわらず履修することができる。

- 2 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により「DS・ICT入門I」2単位を認定された者は、AI・データサイエンス科目の選択科目を在籍する年次にかかわらず履修することができる。

## (9) 学科科目

### ア 国際英語学科

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
<b>基盤講義</b>						
国際英語と女性の生き方	1	2	2	選択	1	
異文化理解A	1	2	2	選択	2・3	
異文化理解B	1	2	2	選択	2・3	
Japanese Culture & Literature	1	2	2	選択	2・3	
英語グローバル人材論	1	2	2	必修	2	
English Studies 基礎論 (文学研究)	1	2	2	選択必修	} 4単位必修	2
English Studies 基礎論 (批評研究)	1	2	2	選択必修		2
English Studies 基礎論 (文化研究)	1	2	2	選択必修		2
English Studies 基礎論 (言語と社会)	1	2	2	選択必修		2
English Studies 基礎論 (言語の構造)	1	2	2	選択必修		2
英語教育基礎論A	1	2	2	選択必修	} 4単位必修	2
英語教育基礎論B	1	2	2	選択必修		2
第二言語習得基礎論A	1	2	2	選択必修		2・3
第二言語習得基礎論B	1	2	2	選択必修		2・3
言語の多様性と普遍性A	1	2	2	選択必修		2・3
言語の多様性と普遍性B	1	2	2	選択必修		2・3
翻訳基礎論	1	2	2	選択必修		2
通訳基礎論	1	2	2	選択必修		2
Professional English 基礎論	1	2	2	選択必修		2
<b>特殊講義</b>						
英語文化リソース論	1	2	2	選択必修	} 2単位必修	2・3・4
テーマ研究 (ジェンダー研究)	1	2	2	選択必修		2・3・4
テーマ研究 (英米文学)	1	2	2	選択必修		2・3・4
テーマ研究 (英語と世界文学)	1	2	2	選択必修		2・3・4
テーマ研究 (英語教育と第二言語習得)	1	2	2	選択必修		2・3・4
テーマ研究 (Professional English)	1	2	2	選択必修		2・3・4
比較文化A	1	2	2	選択		2・3・4
比較文化B	1	2	2	選択		2・3・4

表象文化A	1	2	2	選択		2・3・4
表象文化B	1	2	2	選択		2・3・4
英語文学 (演劇)	1	2	2	選択必修	}	3・4
英語文学 (小説)	1	2	2	選択必修		3・4
英語文学 (詩)	1	2	2	選択必修		3・4
英語文学 (児童文学)	1	2	2	選択必修		3・4
英語文学 (比較文学)	1	2	2	選択必修		3・4
英語文学 (映像と言語表現)	1	2	2	選択必修		3・4
イギリス文学史Ⅰ	1	2	2	選択必修	}	3・4
イギリス文学史Ⅱ	1	2	2	選択必修		3・4
アメリカ文学史Ⅰ	1	2	2	選択必修		3・4
アメリカ文学史Ⅱ	1	2	2	選択必修	4単位必修	3・4
英語文化研究特論A	1	2	2	選択必修		2・3・4
英語文化研究特論B	1	2	2	選択必修		2・3・4
英語学 (意味論)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学 (語用論)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学 (音韻論)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学 (形態・統語論)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学 (社会言語学)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学 (英語史)	1	2	2	選択必修		3・4
英語指導法	1	2	2	選択必修		2・3
児童英語指導法	1	2	2	選択必修		2・3
第二言語習得研究法	1	2	2	選択必修		2・3
翻訳学特論	1	2	2	選択必修	}	2・3・4
通訳学特論	1	2	2	選択必修		2・3・4
<b>基盤演習</b>						
1年次演習 (国際英語)	1	2	2	必修		1
Study Abroad 基礎演習	1	2	2	必修		1
First-Year English SeminarⅠ	1	4	4	必修		1
First-Year English SeminarⅡ	1	4	4	必修		1
Second-Year English Seminar	1	2	2	必修		2
Research Project for Study Abroad	1	2	2	必修		2
英語音声学	1	2	2	選択必修	}	1
英文法	1	2	2	選択必修		1
English Studies 入門演習Ⅰ	1	2	2	選択必修		1
English Studies 入門演習Ⅱ (文学)	1	2	2	選択必修		1
English Studies 入門演習Ⅱ (文化)	1	2	2	選択必修		1
English Studies 入門演習Ⅱ (言語)	1	2	2	選択必修		1
英語教育入門演習	1	2	2	選択必修		1
児童英語教育入門演習	1	2	2	選択必修	6単位必修	1
第二言語習得入門演習	1	2	2	選択必修		1
Classroom English 入門演習	1	2	2	選択必修		2
Professional English 入門演習A	1	2	2	選択必修		1

Professional English 入門演習B	1	2	2	選択必修		1
Public Speaking	1	2	2	選択必修		2
翻訳入門演習	1	2	2	選択必修		2
通訳入門演習	1	2	2	選択必修		2
Study Abroad English			2~10	選択必修	} 4単位必修*	2・3
Study Abroad Academics			2~16	選択必修		2・3
Study Abroad English (Integrated Skills) A	1	2	1	選択		2
Study Abroad English (Integrated Skills) B	1	2	1	選択		2
Study Abroad Academics (Advanced Academic English)	1	2	2	選択		2
<b>発展演習</b>						
時事英語	1	2	2	選択		2・3・4
Critical Thinking	1	2	2	選択		2・3・4
3年次演習 (国際英語) I	1	2	2	必修		3
3年次演習 (国際英語) II	1	2	2	必修		3
Third-Year Research Writing I	1	2	2	必修		3
Third-Year Research Writing II	1	2	2	必修		3
英語文学演習 (演劇)	1	2	2	選択必修	} 6単位必修	3・4
英語文学演習 (小説)	1	2	2	選択必修		3・4
英語文学演習 (詩)	1	2	2	選択必修		3・4
英語文学演習 (児童文学)	1	2	2	選択必修		3・4
英語文学演習 (比較文学)	1	2	2	選択必修		3・4
英語文学演習 (映像と言語表現)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学演習 (意味論)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学演習 (語用論)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学演習 (音韻論)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学演習 (形態・統語論)	1	2	2	選択必修		3・4
英語学演習 (社会言語学)	1	2	2	選択必修		3・4
児童英語教育演習	1	2	2	選択必修		3
第二言語習得演習	1	2	2	選択必修		3
Classroom English 演習	1	2	2	選択必修		3
翻訳演習A	1	2	2	選択必修		3
翻訳演習B	1	2	2	選択必修		3
通訳演習A	1	2	2	選択必修		3
通訳演習B	1	2	2	選択必修	3	
Professional English 演習A	1	2	2	選択必修	3	
Professional English 演習B	1	2	2	選択必修	3	
4年次演習 (国際英語) I	1	2	2	必修		4
4年次演習 (国際英語) II	1	2	2	必修		4
<b>卒業論文</b>						
卒業論文	2		8	選択必修	} 8単位必修	4
Final Presentation	2		8	選択必修		4

注1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

- 2 「\*」印の選択必修4単位は特別の理由によりStudy Abroadを免除することを学科が認めた場合は、学科の指定する科目の単位に代えることができる。
- 3 国際英語学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目合わせて64単位を修得しなければならない。
- 4 国際英語学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数124単位のうち所定の科目の単位を含84単位を修得しなければならない。
- 5 「Critical Thinking」は、キャリア・イングリッシュ課程を登録している人文学科、国際社会学科、心理・コミュニケーション学科及び数理科学科の学生で必要が認められた場合は、履修することができる。

### イ 人文学科

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
<b>基盤講義</b>						
人文学入門	1	2	2	必修	1	
哲学の基本問題	1	2	2	選択	哲学専攻は必修	1
哲学の歴史的展開	1	2	2	選択		1
哲学概論	1	2	2	選択	哲学専攻は2単位必修	2
倫理学概論	1	2	2	選択		2・3
美学概論	1	2	2	選択		2・3
キリスト教学概論	1	2	2	選択		2・3
古代ギリシア哲学史	1	2	2	選択		哲学専攻は6単位必修
中世ヨーロッパ哲学史	1	2	2	選択	2・3	
西洋近代哲学史	1	2	2	選択	2・3	
西洋現代哲学史	1	2	2	選択	2・3	
東洋思想史	1	2	2	選択	2・3	
美学史	1	2	2	選択	2・3	
キリスト教史	1	2	2	選択	2・3	
日本語学入門	1	2	2	選択	日本文学専攻は必修	1
日本古典文学入門	1	2	2	選択		1
日本近現代文学入門	1	2	2	選択		1
漢文学入門	1	2	2	選択		1
日本語学概論Ⅰ	1	2	2	選択		1・2・3
日本語学概論Ⅱ	1	2	2	選択		1・2・3
日本語史概論Ⅰ	1	2	2	選択		1・2・3
日本語史概論Ⅱ	1	2	2	選択		1・2・3
日本文学概論（古典）AⅠ	1	2	2	選択		1・2・3
日本文学概論（古典）AⅡ	1	2	2	選択		1・2・3
日本文学概論（古典）BⅠ	1	2	2	選択	日本文学専攻は 12単位必修	1・2・3
日本文学概論（古典）BⅡ	1	2	2	選択		1・2・3
日本文学概論（近現代）Ⅰ	1	2	2	選択		1・2・3

日本文学概論（近現代）Ⅱ	1	2	2	選択		1・2・3
日本の文化（芸能）Ⅰ	1	2	2	選択		1・2・3
日本の文化（芸能）Ⅱ	1	2	2	選択		1・2・3
日本の文化（古典文化）Ⅰ	1	2	2	選択		1・2・3
日本の文化（古典文化）Ⅱ	1	2	2	選択		1・2・3
漢文学概論Ⅰ	1	2	2	選択		1・2・3
漢文学概論Ⅱ	1	2	2	選択		1・2・3
Japanese Culture & Literature	1	2	2	選択		2・3
日本史概論Ⅰ	1	2	2	選択	歴史文化専攻は必修	1・2
日本史概論Ⅱ	1	2	2	選択		1・2
アジア史概論Ⅰ	1	2	2	選択		1・2
アジア史概論Ⅱ	1	2	2	選択		1・2
西洋史概論Ⅰ	1	2	2	選択		1・2
西洋史概論Ⅱ	1	2	2	選択		1・2
日本史の理論と方法	1	2	2	選択	歴史文化 は2単位 必修	2・3
アジア史の理論と方法	1	2	2	選択		2・3
西洋史の理論と方法	1	2	2	選択		2・3
音楽芸術	1	2	2	選択		1・2・3・4
音楽史	1	2	2	選択		1・2・3・4
宗教学	1	2	2	選択		1・2・3・4
宗教史	1	2	2	選択		1・2・3
法学概論	1	2	2	選択		1・2・3
政治学概論	1	2	2	選択		1・2・3
ミクロ経済学入門	1	2	2	選択		1・2・3
マクロ経済学入門	1	2	2	選択		1・2・3
社会学概論Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
社会学概論Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
<b>特殊講義</b>						
人文学総合講義	1	2	2	必修		3
現代哲学の課題と方法	1	2	2	選択	哲学専攻は 10単位必修	2・3・4
現代科学とテクノロジーの哲学	1	2	2	選択		2・3・4
応用倫理学の展望	1	2	2	選択		2・3・4
女性と生命倫理	1	2	2	選択		2・3・4
西洋の美学	1	2	2	選択	哲学専攻は 10単位必修	2・3・4
日本と東洋の美学	1	2	2	選択		2・3・4
芸術と社会	1	2	2	選択		2・3・4
キリスト教の思想・文化	1	2	2	選択		2・3・4
日本思想史	1	2	2	選択		2・3・4
日本語学（表記・語彙）A	1	2	2	選択		2・3・4
日本語学（表記・語彙）B	1	2	2	選択		2・3・4

日本語学 (文法・談話) A	1	2	2	選択		2・3・4
日本語学 (文法・談話) B	1	2	2	選択		2・3・4
日本語史 (古代・中世語) A	1	2	2	選択		2・3・4
日本語史 (古代・中世語) B	1	2	2	選択		2・3・4
日本語史 (中世・近世語) A	1	2	2	選択		2・3・4
日本語史 (中世・近世語) B	1	2	2	選択		2・3・4
社会言語学A	1	2	2	選択		2・3・4
社会言語学B	1	2	2	選択		2・3・4
比較文化A	1	2	2	選択		2・3・4
比較文化B	1	2	2	選択		2・3・4
表象文化A	1	2	2	選択		2・3・4
表象文化B	1	2	2	選択		2・3・4
日本古代文学A	1	2	2	選択		2・3・4
日本古代文学B	1	2	2	選択		2・3・4
日本中古文学A	1	2	2	選択	}	2・3・4
日本中古文学B	1	2	2	選択		2・3・4
日本中世文学A	1	2	2	選択		2・3・4
日本中世文学B	1	2	2	選択		2・3・4
日本近世文学A	1	2	2	選択		2・3・4
日本近世文学B	1	2	2	選択		2・3・4
日本近代文学A	1	2	2	選択		2・3・4
日本近代文学B	1	2	2	選択		2・3・4
日本近代文学C	1	2	2	選択		2・3・4
日本近代文学D	1	2	2	選択	日本文学専攻は	2・3・4
日本現代文学A	1	2	2	選択	4単位必修	2・3・4
日本現代文学B	1	2	2	選択		2・3・4
日本現代文学C	1	2	2	選択		2・3・4
日本現代文学D	1	2	2	選択		2・3・4
日本文化学A	1	2	2	選択		2・3・4
日本文化学B	1	2	2	選択		2・3・4
中国の文学と文化A	1	2	2	選択	}	2・3・4
中国の文学と文化B	1	2	2	選択		2・3・4
書道	1	2	2	選択		3
日本古代史料論	1	2	2	選択	}	2・3・4
日本中世史料論	1	2	2	選択		2・3・4
日本近世史料論	1	2	2	選択		2・3・4
日本近現代史料論	1	2	2	選択		2・3・4

日本古代史	1	2	2	選択		2・3・4
日本中世史	1	2	2	選択		2・3・4
日本近世史	1	2	2	選択		2・3・4
日本近現代史	1	2	2	選択		2・3・4
オリエント史	1	2	2	選択		2・3・4
中国史	1	2	2	選択	歴史文化専攻は 8単位必修	2・3・4
インド史	1	2	2	選択		2・3・4
イスラーム史	1	2	2	選択		2・3・4
ギリシア・ローマ史	1	2	2	選択		2・3・4
イギリス史	1	2	2	選択		2・3・4
ドイツ史	1	2	2	選択		2・3・4
フランス史	1	2	2	選択		2・3・4
西洋前近代史A	1	2	2	選択		2・3・4
西洋前近代史B	1	2	2	選択		2・3・4
西洋近現代史A	1	2	2	選択		2・3・4
西洋近現代史B	1	2	2	選択		2・3・4
考古学（日本）	1	2	2	選択	歴史文化専攻は 4単位必修	2・3・4
考古学（アジア）	1	2	2	選択		2・3・4
考古学（西洋）	1	2	2	選択		2・3・4
美術史（日本）	1	2	2	選択		2・3・4
美術史（アジア）	1	2	2	選択		2・3・4
美術史（西洋）	1	2	2	選択		2・3・4
グローバル・ヒストリーA	1	2	2	選択		2・3・4
グローバル・ヒストリーB	1	2	2	選択		2・3・4
カルチュラル・ヒストリーA	1	2	2	選択		2・3・4
カルチュラル・ヒストリーB	1	2	2	選択		2・3・4
世界遺産学A	1	2	2	選択		2・3・4
世界遺産学B	1	2	2	選択		2・3・4
人文地理学	1	2	2	選択		2・3
自然地理学	1	2	2	選択		2・3
地誌学	1	2	2	選択		2・3
<b>基盤演習</b>						
人文学基礎演習	1	2	2	必修		1
哲学2年次演習Ⅰ	1	2	2	選択	哲学専攻は必修	2
哲学2年次演習Ⅱ	1	2	2	選択		2
キリスト教学演習A	1	2	2	選択		2・3
キリスト教学演習B	1	2	2	選択		2・3

古典文学基礎演習（くずし字）	1	2	2	選択		1・2
古典文学基礎演習（解釈）	1	2	2	選択		1・2
日本古典文学演習（講読）A	1	2	2	選択		2・3
日本古典文学演習（講読）B	1	2	2	選択		2・3
現代日本語演習Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
現代日本語演習Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
日本語史演習Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
日本語史演習Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
社会言語学演習Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
社会言語学演習Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
日本古代文学演習AⅠ	1	2	2	選択		2・3
日本古代文学演習AⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本古代文学演習BⅠ	1	2	2	選択		2・3
日本古代文学演習BⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本中古文学演習AⅠ	1	2	2	選択		2・3
日本中古文学演習AⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本中古文学演習BⅠ	1	2	2	選択		2・3
日本中古文学演習BⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本中世文学演習AⅠ	1	2	2	選択		2・3
日本中世文学演習AⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本中世文学演習BⅠ	1	2	2	選択		2・3
日本中世文学演習BⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本近世文学演習AⅠ	1	2	2	選択	日本文学専攻は 10単位必修	2・3
日本近世文学演習AⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本近世文学演習BⅠ	1	2	2	選択		2・3
日本近世文学演習BⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本文化演習AⅠ	1	2	2	選択		2・3
日本文化演習AⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本文化演習BⅠ	1	2	2	選択		2・3
日本文化演習BⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習AⅠ	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習AⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習BⅠ	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習BⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習CⅠ	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習CⅡ	1	2	2	選択		2・3
日本近現代文学演習DⅠ	1	2	2	選択		2・3



日本近現代文学演習D II	1	2	2	選択		2・3
漢文学演習A I	1	2	2	選択		2・3
漢文学演習A II	1	2	2	選択		2・3
漢文学演習B I	1	2	2	選択		2・3
漢文学演習B II	1	2	2	選択		2・3
古典籍調査	1	2	2	選択		2・3
言語調査 I	1	2	2	選択		2・3
言語調査 II	1	2	2	選択		2・3
言語情報処理 I	1	2	2	選択		2・3
言語情報処理 II	1	2	2	選択		2・3
創作と批評 (創作) I	1	2	2	選択		2・3
創作と批評 (創作) II	1	2	2	選択		2・3
創作と批評 (批評) I	1	2	2	選択		2・3
創作と批評 (批評) II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本古代) A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本古代) A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本古代) B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本古代) B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本中世) A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本中世) A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本中世) B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本中世) B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本近世) A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本近世) A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本近世) B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本近世) B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本近現代) A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本近現代) A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本近現代) B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (日本近現代) B II	1	2	2	選択	歴史文化専攻は	2・3
文献・資料演習 (アジア史) A I	1	2	2	選択	8単位必修	2・3
文献・資料演習 (アジア史) A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (アジア史) B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (アジア史) B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (西洋古代) A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (西洋古代) A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (西洋古代) B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習 (西洋古代) B II	1	2	2	選択		2・3

文献・資料演習（西洋中世）A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習（西洋中世）A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習（西洋中世）B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習（西洋中世）B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習（西洋近世）A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習（西洋近世）A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習（西洋近世）B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習（西洋近世）B II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習（西洋近現代）A I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習（西洋近現代）A II	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習（西洋近現代）B I	1	2	2	選択		2・3
文献・資料演習（西洋近現代）B II	1	2	2	選択		2・3
オーラル・ヒストリー	1	2	2	選択		2・3
<b>発展演習</b>						
西洋古代・中世哲学演習A I	1	2	2	選択		3・4
西洋古代・中世哲学演習A II	1	2	2	選択		3・4
西洋古代・中世哲学演習B I	1	2	2	選択		3・4
西洋古代・中世哲学演習B II	1	2	2	選択		3・4
西洋近代哲学演習A I	1	2	2	選択		3・4
西洋近代哲学演習A II	1	2	2	選択		3・4
西洋近代哲学演習B I	1	2	2	選択	*	3・4
西洋近代哲学演習B II	1	2	2	選択		3・4
現代哲学演習A I	1	2	2	選択		3・4
現代哲学演習A II	1	2	2	選択		3・4
現代哲学演習B I	1	2	2	選択		3・4
現代哲学演習B II	1	2	2	選択		3・4
倫理学演習A I	1	2	2	選択		3・4
倫理学演習A II	1	2	2	選択		3・4
倫理学演習B I	1	2	2	選択		3・4
倫理学演習B II	1	2	2	選択		3・4
東洋・日本思想史演習A I	1	2	2	選択		3・4
東洋・日本思想史演習A II	1	2	2	選択		3・4
東洋・日本思想史演習B I	1	2	2	選択		3・4
東洋・日本思想史演習B II	1	2	2	選択		3・4
美学演習A I	1	2	2	選択		3・4
美学演習A II	1	2	2	選択		3・4
美学演習B I	1	2	2	選択	*	3・4
美学演習B II	1	2	2	選択		3・4

文理融合演習 A	1	2	2	選択	}	2・3・4
文理融合演習 B	1	2	2	選択		2・3・4
日本文学演習 I	1	2	2	選択	}	3
日本文学演習 II	1	2	2	選択		日本文学専攻は必修
歴史文化演習 I	1	2	2	選択	}	3
歴史文化演習 II	1	2	2	選択		歴史文化専攻は必修
<b>特殊演習</b>						
人文学特殊演習 (哲学) I	1	2	2	選択	}	4
人文学特殊演習 (哲学) II	1	2	2	選択		哲学専攻は必修
人文学特殊演習 (日本文学) I	1	2	2	選択	}	4
人文学特殊演習 (日本文学) II	1	2	2	選択		日本文学専攻は必修
人文学特殊演習 (歴史文化) I	1	2	2	選択	}	4
人文学特殊演習 (歴史文化) II	1	2	2	選択		歴史文化専攻は必修
<b>卒業論文</b>						
卒業論文	2		8	必修		4

注1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

- 2 基盤講義の「社会学概論 I」、「社会学概論 II」及び特殊講義の「書道」を履修するには、所定の教職課程登録を行っていないなければならない。
- 3 哲学専攻の学生は、発展演習の「\*」印の範囲において10単位を修得しなければならない。
- 4 人文学科の学生は、自学科科目のうち、必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて64単位を修得しなければならない。
- 5 人文学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数124単位のうち所定の科目の単位を含む84単位を修得しなければならない。

#### ウ 国際社会学科

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
<b>入門</b>						
国際社会論	1	2	2	必修	1	
国際関係論 I	1	2	2	選択	}	1・2
国際関係論 II	1	2	2	選択		国際関係専攻は必修
文化人類学 I	1	2	2	選択	}	1・2
文化人類学 II	1	2	2	選択		1・2
ミクロ経済学入門	1	2	2	選択	}	1
マクロ経済学入門	1	2	2	選択		1
初級ミクロ経済学	1	2	2	選択	}	1
初級マクロ経済学	1	2	2	選択		経済学専攻は必修
経営学入門	1	2	2	選択	}	1
社会学概論 I	1	2	2	選択		社会学専攻は必修

社会学概論Ⅱ	1	2	2	選択		1	
コミュニティ構想論	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は 4単位必修	1・2	
コミュニティ政策論	1	2	2	選択		1・2	
コミュニティとジェンダー	1	2	2	選択		1・2	
グローバル共生とコミュニティ	1	2	2	選択		1・2	
<b>基礎講義</b>							
政治学概論	1	2	2	選択	国際関係専攻は 6単位必修	1・2	
法学概論	1	2	2	選択		1・2	
日本史概論	1	2	2	選択		1・2	
東洋史概論	1	2	2	選択		1・2	
西洋史概論	1	2	2	選択		1・2	
東アジア社会基礎論	1	2	2	選択		1・2	
東南アジア社会基礎論	1	2	2	選択		1・2	
アメリカ社会基礎論	1	2	2	選択		1・2	
国際関係史	1	2	2	選択		1・2	
統計学	1	2	2	選択		*1	1・2
経済史	1	2	2	選択	2		
経済学史	1	2	2	選択	2		
経済数学	1	2	2	選択	2		
中級ミクロ経済学	1	2	2	選択	経済学専攻は 10単位必修		2
中級マクロ経済学	1	2	2	選択			2
公共経済学	1	2	2	選択			2
経済政策	1	2	2	選択			2
経営管理論	1	2	2	選択	*1		2
経営組織論	1	2	2	選択			2
社会学史Ⅰ	1	2	2	選択		社会学専攻は必修	2
社会学史Ⅱ	1	2	2	選択			2
社会調査法A	1	2	2	選択	2		
コミュニティと文化	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は 6単位必修	1・2・3	
コミュニティと情報メディア	1	2	2	選択		1・2・3	
ジェンダーと法	1	2	2	選択		1・2・3	
市民参加と法	1	2	2	選択		1・2・3	
余暇ツーリズム論	1	2	2	選択		1・2・3	
ツーリズムとジェンダー	1	2	2	選択		1・2・3	
コミュニティ計測法基礎	1	2	2	選択		1・2	
実践的研究計画法(研究計画)	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は 2単位必修	1・2・3・4	
実践的研究計画法(研究構想)	1	2	2	選択		1・2・3・4	
<b>応用講義</b>							
ジェンダー国際関係論A	1	2	2	選択	*1	2・3	
ジェンダー国際関係論B	1	2	2	選択		2・3	
人間の安全保障	1	2	2	選択		2・3	
日本政治外交史A	1	2	2	選択		2・3	

日本政治外交史B	1	2	2	選択		2・3
朝鮮政治外交史 I	1	2	2	選択		2・3
朝鮮政治外交史 II	1	2	2	選択		2・3
中国政治外交史 I	1	2	2	選択		2・3
中国政治外交史 II	1	2	2	選択		2・3
アメリカ史 I	1	2	2	選択		2・3
アメリカ史 II	1	2	2	選択		2・3
国際関係法A	1	2	2	選択		2・3・4
国際関係法B	1	2	2	選択		2・3・4
国際機構論	1	2	2	選択		2・3・4
国際関係 (日米)	1	2	2	選択		2・3・4
国際関係 (日朝)	1	2	2	選択		2・3・4
国際関係 (日中)	1	2	2	選択		2・3・4
日本政治思想史	1	2	2	選択		2・3・4
現代韓国論	1	2	2	選択		2・3・4
韓国政治・経済論	1	2	2	選択	国際関係専攻は 8単位必修	2・3・4
現代中国論	1	2	2	選択		2・3・4
香港・台湾論	1	2	2	選択		2・3・4
現代アメリカ政治論	1	2	2	選択		2・3・4
現代アメリカの動態	1	2	2	選択		2・3・4
南アジア社会特論	1	2	2	選択		2・3・4
イスラム社会特論	1	2	2	選択		2・3・4
民族誌特論A	1	2	2	選択		2・3・4
民族誌特論B	1	2	2	選択		2・3・4
宗教人類学	1	2	2	選択		2・3・4
政治人類学	1	2	2	選択		2・3・4
人種・民族・国民	1	2	2	選択		2・3・4
人権・人道の人類学	1	2	2	選択		2・3・4
国際政治経済 I	1	2	2	選択		3・4
国際政治経済 II	1	2	2	選択		3・4
比較政治学 I	1	2	2	選択		3・4
比較政治学 II	1	2	2	選択		3・4
アジア国際関係論 I	1	2	2	選択		3・4
アジア国際関係論 II	1	2	2	選択		3・4
近現代日本研究 (政治・外交) A	1	2	2	選択		3・4
近現代日本研究 (政治・外交) B	1	2	2	選択		3・4
朝鮮研究 I	1	2	2	選択		3・4
朝鮮研究 II	1	2	2	選択		3・4
中国研究 I	1	2	2	選択	国際関係専攻は 6単位必修	3・4
中国研究 II	1	2	2	選択		3・4
アメリカ研究 (政治・外交) I	1	2	2	選択	6単位必修	3・4
アメリカ研究 (政治・外交) II	1	2	2	選択		3・4

アメリカ研究 (社会史) I	1	2	2	選択		3・4
アメリカ研究 (社会史) II	1	2	2	選択		3・4
日米比較研究 I	1	2	2	選択		3・4
日米比較研究 II	1	2	2	選択		3・4
周縁世界とグローバル化 I	1	2	2	選択		3・4
周縁世界とグローバル化 II	1	2	2	選択		3・4
東アジアの文化と社会	1	2	2	選択		3・4
民族と世界	1	2	2	選択		3・4
国際経済学	1	2	2	選択	}	2・3・4
開発経済学	1	2	2	選択		2・3・4
計量経済学	1	2	2	選択		2・3・4
環境経済学	1	2	2	選択		2・3・4
労働経済学	1	2	2	選択		2・3・4
金融論	1	2	2	選択		2・3・4
財政学	1	2	2	選択		2・3・4
日本経済論	1	2	2	選択		2・3・4
ゲームの理論	1	2	2	選択		2・3・4
産業組織論	1	2	2	選択		2・3・4
都市・地域経済学	1	2	2	選択		2・3・4
ジェンダーの経済学	1	2	2	選択		2・3・4
女性起業論	1	2	2	選択		2・3・4
福祉の経済学	1	2	2	選択		2・3・4
現代経済論	1	2	2	選択		2・3・4
アメリカ経済論	1	2	2	選択		2・3・4
EU経済論	1	2	2	選択	} 経済学専攻は 4単位必修	2・3・4
アジア経済論	1	2	2	選択		2・3・4
中国経済論	1	2	2	選択		2・3・4
日本経済史	1	2	2	選択		*1 2・3・4
経営史	1	2	2	選択		2・3・4
保険論	1	2	2	選択		2・3・4
証券論	1	2	2	選択		2・3・4
中小企業論	1	2	2	選択		2・3・4
経済法	1	2	2	選択		2・3・4
企業法	1	2	2	選択		2・3・4
労働法	1	2	2	選択		2・3・4
経営戦略論	1	2	2	選択		2・3・4
マーケティング	1	2	2	選択		2・3・4
消費者行動論	1	2	2	選択		2・3・4
人的資源管理論	1	2	2	選択		2・3・4
簿記論	1	2	2	選択		2・3・4
財務会計	1	2	2	選択		2・3・4
管理会計	1	2	2	選択		2・3・4

ロジスティクス論	1	2	2	選択	)	)	2・3・4
経営ファイナンス論	1	2	2	選択			2・3・4
社会調査法B	1	2	2	選択	)		2・3・4
社会調査法C	1	2	2	選択			2・3・4
社会統計学Ⅰ	1	2	2	選択	)		2・3・4
社会統計学Ⅱ	1	2	2	選択			2・3・4
家族社会学Ⅰ	1	2	2	選択	)		2・3・4
家族社会学Ⅱ	1	2	2	選択			2・3・4
地域社会学	1	2	2	選択	)		2・3・4
都市社会学	1	2	2	選択			2・3・4
現代社会論	1	2	2	選択	)	社会学専攻は 14単位必修	2・3・4
日本社会論	1	2	2	選択			2・3・4
政治社会学	1	2	2	選択	)		2・3・4
公共社会学	1	2	2	選択			2・3・4
労働社会学Ⅰ	1	2	2	選択	)		2・3・4
労働社会学Ⅱ	1	2	2	選択			2・3・4
産業社会学	1	2	2	選択	)		2・3・4
組織社会学	1	2	2	選択			2・3・4
ライフコースの社会学	1	2	2	選択	)		2・3・4
福祉社会学	1	2	2	選択			2・3・4
臨床社会学	1	2	2	選択	)		2・3・4
文化社会学	1	2	2	選択			2・3・4
比較社会学	1	2	2	選択	)		2・3・4
多文化の社会学	1	2	2	選択			2・3・4
国際社会学	1	2	2	選択	)		2・3・4
グローバル化の社会学	1	2	2	選択			2・3・4
コミュニティと心理学	1	2	2	選択	)		2・3・4
コミュニティとリーダーシップ	1	2	2	選択			2・3・4
ソーシャル・キャピタル論	1	2	2	選択	)		2・3・4
ソーシャル・サポート	1	2	2	選択			2・3・4
公共生活と法	1	2	2	選択	)		2・3・4
まちづくりと法	1	2	2	選択			2・3・4
地域共生とツーリズム	1	2	2	選択	)		2・3・4
地域共生とイノベーション	1	2	2	選択			2・3・4
コミュニティとリスク	1	2	2	選択	)		2・3・4
ホスピタリティ論	1	2	2	選択			2・3・4
コミュニティ・デザイン論	1	2	2	選択	)	コミュニティ構想専攻は 12単位必修	2・3・4
グローバル化とまちづくり	1	2	2	選択			2・3・4
世界遺産学A	1	2	2	選択	)		2・3・4
世界遺産学B	1	2	2	選択			2・3・4
コミュニティ調査法A	1	2	2	選択	)		2・3
コミュニティ調査法B	1	2	2	選択			2・3

コミュニティ計測法A	1	2	2	選択		2・3・4
コミュニティ計測法B	1	2	2	選択		2・3・4
都市フィールドワーク	1	2	2	選択		2・3・4
人文地理学	1	2	2	選択		2・3
自然地理学	1	2	2	選択		2・3
地誌学	1	2	2	選択		2・3
<b>基礎演習</b>						
国際社会基礎演習	1	2	2	必修		1
基礎演習（国際関係）	1	2	2	選択	国際関係専攻は必修	1
基礎演習（経済学）	1	2	2	選択	経済学専攻は必修	1
基礎演習（社会学）	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	1
基礎演習（コミュニティ構想）	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は必修	1
2年次演習（国際関係）Ⅰ	1	2	2	選択	国際関係専攻は必修	2
2年次演習（国際関係）Ⅱ	1	2	2	選択		2
2年次演習（経済学）Ⅰ	1	2	2	選択	経済学専攻は必修	2
2年次演習（経済学）Ⅱ	1	2	2	選択		2
アクティブラーニング実習（経済経営）1	1	2	2	選択		2・3・4
アクティブラーニング実習（経済経営）2	1	2	2	選択		2・3・4
2年次演習（社会学）Ⅰ	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	2
2年次演習（社会学）Ⅱ	1	2	2	選択		2
2年次演習（コミュニティ構想）Ⅰ	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は必修	2
2年次演習（コミュニティ構想）Ⅱ	1	2	2	選択		2
<b>発展演習</b>						
社会調査実習Ⅰ	1	2	2	選択	社会学専攻は必修 } *1	3
社会調査実習Ⅱ	1	2	2	選択		3
コミュニティ拠点実習（キャリア構想）	1	2	2	選択	} *2	2
コミュニティ拠点実習（キャリア実践）	1	2	2	選択		3
コミュニティ拠点実習（地域構想）	1	2	2	選択		2
コミュニティ拠点実習（地域実践）	1	2	2	選択		3
コミュニティ調査実習（企画・立案・設計）	1	2	2	選択		3・4
コミュニティ調査実習（実査と分析）	1	2	2	選択		3・4
3年次演習（国際関係）Ⅰ	1	2	2	選択	国際関係専攻は必修	3
3年次演習（国際関係）Ⅱ	1	2	2	選択		3
3年次演習（経済学）Ⅰ	1	2	2	選択	経済学専攻は必修	3
3年次演習（経済学）Ⅱ	1	2	2	選択		3
3年次演習（社会学）Ⅰ	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	3
3年次演習（社会学）Ⅱ	1	2	2	選択		3
3年次演習（コミュニティ構想）Ⅰ	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は必修	3
3年次演習（コミュニティ構想）Ⅱ	1	2	2	選択		3
4年次演習（国際関係）Ⅰ	1	2	2	選択	国際関係専攻は必修	4
4年次演習（国際関係）Ⅱ	1	2	2	選択		4



4年次演習(経済学) I	1	2	2	選択	経済学専攻は必修	4
4年次演習(経済学) II	1	2	2	選択		4
4年次演習(社会学) I	1	2	2	選択	社会学専攻は必修	4
4年次演習(社会学) II	1	2	2	選択		4
4年次演習(コミュニティ構想) I	1	2	2	選択	コミュニティ構想専攻は必修	4
4年次演習(コミュニティ構想) II	1	2	2	選択		4
<b>卒業論文</b>						
卒業論文	2		8	必修		4

注1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

- 2 経済学専攻の学生は、基礎講義、応用講義及び発展演習の「\*1」印の範囲において4単位を修得しなければならない。ただし、選択必修科目の単位として修得した単位を除く。
- 3 コミュニティ構想専攻の学生は、発展演習の「\*2」印の範囲において4単位を修得しなければならない。
- 4 国際社会学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて64単位を修得しなければならない。
- 5 国際社会学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数124単位のうち所定の科目の単位を含む84単位を修得しなければならない。
- 6 「アクティブラーニング実習(経済経営)2」を履修するには、「アクティブラーニング実習(経済経営)1」2単位を修得していなければならない。

#### エ 心理・コミュニケーション学科

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	
<b>入門</b>						
心理・コミュニケーション概論	1	2	2	必修	1	
心理学概論	1	2	2	必修	1	
コミュニケーション概論I	1	2	2	必修	1	
コミュニケーション概論II(メディア)	1	2	2	選択	コミュニケーション 専攻は必修	1
コミュニケーション概論II(情報デザイン)	1	2	2	選択		1
コミュニケーション概論II(多文化)	1	2	2	選択		1
<b>基盤講義</b>						
知覚・認知心理学概論	1	2	2	選択	心理学専攻は必修	1
社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)	1	2	2	選択		1
発達心理学概論	1	2	2	選択		2
臨床心理学概論	1	2	2	選択		2
心理学統計法1	1	2	2	選択		1
心理学統計法2	1	2	2	選択		2
コミュニケーション統計法1	1	2	2	選択	コミュニケーション 専攻は必修	2
コミュニケーション統計法2	1	2	2	選択		2
先端トピック概論(コミュニケーション)A	1	2	2	選択	コミュニケーション 専攻は2単位必修	1
先端トピック概論(コミュニケーション)B	1	2	2	選択		1

特殊講義						
思考心理学	1	2	2	選択	心理学専攻は 2単位必修	2・3・4
知覚心理学	1	2	2	選択		2・3・4
神経・生理心理学	1	2	2	選択		2・3・4
認知心理学	1	2	2	選択		2・3・4
学習・言語心理学	1	2	2	選択		2・3・4
感情・人格心理学	1	2	2	選択		2・3・4
社会心理学 (個人内過程)	1	2	2	選択	心理学専攻は 2単位必修	2・3・4
社会心理学 (対人過程)	1	2	2	選択		2・3・4
社会心理学 (マクロ・集団)	1	2	2	選択		2・3・4
社会心理学 (応用)	1	2	2	選択		2・3・4
発達心理学 (情動発達)	1	2	2	選択	心理学専攻は 2単位必修	2・3・4
発達心理学 (社会発達)	1	2	2	選択		2・3・4
発達心理学 (認知発達)	1	2	2	選択		2・3・4
教育心理学	1	2	2	選択		2・3・4
心理学的支援法	1	2	2	選択		2・3・4
教育・学校心理学	1	2	2	選択		2・3・4
家族心理学	1	2	2	選択	心理学専攻は 2単位必修	2・3・4
産業・組織心理学	1	2	2	選択		2・3・4
健康・医療心理学	1	2	2	選択		2・3・4
障害者・障害児心理学	1	2	2	選択		2・3・4
精神保健学	1	2	2	選択		2・3・4
精神疾患とその治療	1	2	2	選択		2・3・4
福祉心理学	1	2	2	選択		2・3・4
司法・犯罪心理学	1	2	2	選択		2・3・4
心理学特論	1	2	2	選択		2・3・4
メディア心理学	1	2	2	選択	コミュニケーション 専攻は2単位必修	2・3・4
コミュニケーション心理学A	1	2	2	選択		2・3・4
コミュニケーション心理学B	1	2	2	選択		2・3・4
メディアとことば	1	2	2	選択		2・3・4
メディア社会論	1	2	2	選択		2・3・4
メディア文化論	1	2	2	選択		2・3・4
メディア産業論	1	2	2	選択		2・3・4
メディア史	1	2	2	選択		2・3・4
ジャーナリズムと現代社会	1	2	2	選択		2・3・4
広告と消費者心理	1	2	2	選択		2・3・4
ジェンダーとメディア	1	2	2	選択	2・3・4	
グローバルメディア	1	2	2	選択	2・3・4	
デザイン思考Ⅰ	1	2	2	選択		2・3・4
デザイン思考Ⅱ	1	2	2	選択		2・3・4
ユニバーサルデザイン (人間中心設計)	1	2	2	選択		2・3・4
ユニバーサルデザイン (心理物理)	1	2	2	選択		2・3・4

デザイン心理(視覚)	1	2	2	選択			2・3・4
デザイン心理(聴覚)	1	2	2	選択			2・3・4
ICT リテラシー I	1	2	2	選択	コミュニケーション 専攻は2単位必修		2・3・4
ICT リテラシー II	1	2	2	選択			2・3・4
インターネット・バイ・デザイン I	1	2	2	選択			2・3・4
インターネット・バイ・デザイン II	1	2	2	選択			2・3・4
Web デザイン	1	2	2	選択			2・3・4
SNS コミュニティデザイン	1	2	2	選択			2・3・4
ユーザニーズ分析	1	2	2	選択			2・3・4
コミュニケーションと女性のキャリア	1	2	2	選択		*	2・3・4
多文化コミュニケーション	1	2	2	選択			2・3・4
対人コミュニケーション (家族)	1	2	2	選択			2・3・4
対人コミュニケーション (社会)	1	2	2	選択			2・3・4
対人コミュニケーション (ジェンダー)	1	2	2	選択			2・3・4
ダイバーシティとコミュニケーション	1	2	2	選択			2・3・4
文化心理学(文化と自己)	1	2	2	選択	コミュニケーション 専攻は2単位必修		2・3・4
文化心理学(文化と認知)	1	2	2	選択			2・3・4
文化心理学 (グローバル社会)	1	2	2	選択			2・3・4
多文化教育	1	2	2	選択			2・3・4
日本語教育研究概論 I	1	2	2	選択			2
日本語教育研究概論 II	1	2	2	選択			2
日本語教育研究 I	1	2	2	選択			3
日本語教育研究 II	1	2	2	選択			3
多文化コミュニケーション・デザイン	1	2	2	選択			2・3・4
ことばと文化	1	2	2	選択			2・3・4
言語コミュニケーション能力の発達	1	2	2	選択			2・3・4
言語の多様性と普遍性A	1	2	2	選択			2・3・4
言語の多様性と普遍性B	1	2	2	選択			2・3・4
第二言語習得基礎論A	1	2	2	選択			2
第二言語習得基礎論B	1	2	2	選択			2
社会言語学A	1	2	2	選択			2・3・4
社会言語学B	1	2	2	選択			2・3・4
日本語学 (表記・語彙) A	1	2	2	選択			2・3・4
日本語学 (表記・語彙) B	1	2	2	選択			2・3・4
日本語学 (文法・談話) A	1	2	2	選択			2・3・4
日本語学 (文法・談話) B	1	2	2	選択			2・3・4
<b>基盤演習</b>							
1年次演習 (心理学)	1	2	2	選択	心理学専攻は必修		1
2年次演習 (心理学) A	1	2	2	選択			2
2年次演習 (心理学) B	1	2	2	選択			2
心理学実験入門 (心理学研究法 I)	1	2	2	選択			1
1年次演習 (コミュニケーション)	1	2	2	選択			1

2年次演習 (コミュニケーション)	1	2	2	選択	コミュニケーション 専攻は必修	2
コミュニケーション研究法入門	1	4	4	選択		2
アプリ作成入門	1	2	2	選択	* }	1
Webプログラミング I	1	2	2	選択		2
Webプログラミング II	1	2	2	選択		2
オーラルコミュニケーションスキルズ	1	2	2	選択		2・3
言語情報処理 I	1	2	2	選択	}	2・3
言語情報処理 II	1	2	2	選択		2・3
<b>発展演習</b>						
3年次演習 (心理学)	1	2	2	選択	心理学専攻は必修 }	3
4年次演習 (心理学) A	1	2	2	選択		4
4年次演習 (心理学) B	1	2	2	選択		4
心理学特殊演習(先端)	1	2	2	選択		3・4
心理学特殊演習(応用)	1	2	2	選択		3・4
3年次演習 (コミュニケーション) I	1	2	2	選択	コミュニケーション 専攻は必修 }	3
3年次演習 (コミュニケーション) II	1	2	2	選択		3
4年次演習 (コミュニケーション) I	1	2	2	選択		4
4年次演習 (コミュニケーション) II	1	2	2	選択		4
コミュニケーション研究法実習 (実験法)	1	2	2	選択	コミュニケーション 専攻は2単位必修 }	3
コミュニケーション研究法実習 (内容分析)	1	2	2	選択		3
コミュニケーション研究法実習 (質的研究)	1	2	2	選択		3
社会調査法実習 (質問紙調査) I	1	2	2	選択	コミュニケーション 専攻は2単位必修 }	3
社会調査法実習 (質問紙調査) II	1	2	2	選択		3
多変量解析	1	2	2	選択		3
<b>実験・実習</b>						
発達臨床基礎実習 (心理学研究法II)	1	2	1	選択	}	1
心理的アセスメント	1	2	1	選択		2
心理学実験演習 I A	1	2	1	選択	心理学専攻は必修 }	2
心理学実験演習 I B	1	4	2	選択		2
心理学実験演習 II (実験法)	1	2	1	選択	心理学専攻は 1単位必修 }	3
心理学実験演習 II (調査法)	1	2	1	選択		3
心理学実験演習 II (質的アプローチ)	1	2	1	選択		3
心理学実験演習 III (実験法)	1	2	1	選択		3・4
心理学特殊実験演習	1	4	2	選択	心理学専攻は必修	3
日本語教育実習	2	2	4	選択		4
<b>卒業論文</b>						
卒業論文	2		8	必修		4
<b>公認心理師特設科目</b>						
公認心理師の職責 **	1	2	2	選択		2
人体の構造と機能及び疾病 **	1	2	2	選択		2・3・4
関係行政論 **	1	2	2	選択		2・3・4
心理演習 ***	1	2	2	選択		4

心理実習 ***	2	4	4	選択	4
----------	---	---	---	----	---

注1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

- 2 「心理学統計法2」を履修するには、「心理学統計法1」2単位を修得していなければならない。
- 3 「コミュニケーション統計法2」を履修するには、「コミュニケーション統計法1」2単位を修得していなければならない。
- 4 コミュニケーション専攻の学生は、特殊講義及び基盤演習の「\*」印の範囲において10単位を修得しなければならない。  
ただし、必ず特殊講義の選択必修3科目計6単位を含めなければならない。
- 5 「日本語教育研究Ⅰ」及び「日本語教育研究Ⅱ」を履修するには、次の2科目計4単位を修得していなければならない。  
「第二言語習得基礎論A」又は「第二言語習得基礎論B」のうち1科目2単位  
「日本語教育研究概論Ⅰ」又は「日本語教育研究概論Ⅱ」のうち1科目2単位
- 6 「日本語教育実習」を履修するには、次の5科目計10単位を修得していなければならない。  
「第二言語習得基礎論A」「第二言語習得基礎論B」「日本語教育研究概論Ⅰ」「日本語教育研究概論Ⅱ」の4科目計8単位  
「日本語教育研究Ⅰ」又は「日本語教育研究Ⅱ」のうち1科目2単位
- 7 「公認心理師特設科目」(\*\*印及び\*\*\*印の科目)を履修するには、所定の公認心理師課程登録を行っていないといけない。
- 8 \*\*\*印の「心理演習」、「心理実習」の単位は、卒業に必要な単位(心理・コミュニケーション学科科目及び自由選択科目)として数えられない。
- 9 心理・コミュニケーション学科の学生は、自学科科目のうち必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて64単位を修得しなければならない。
- 10 心理・コミュニケーション学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数124単位のうち所定の科目の単位を含む84単位を修得しなければならない。

オ 数理科学科

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
<b>情報数理科学:基礎</b>					
微分積分学Ⅰ	1	2	2	必修	1
微分積分学Ⅱ	1	2	2	必修	1
線形代数学Ⅰ	1	2	2	必修	1
線形代数学Ⅱ	1	2	2	必修	1
数学演習Ⅰ	1	2	1	必修	1
数学演習Ⅱ	1	2	1	必修	1
集合と写像	1	2	2	必修	1
情報学概論	1	2	2	必修	1
CプログラミングⅠ	1	2	2	必修	1
<b>情報数理科学:発展</b>					
微分積分学Ⅲ	1	2	2	選択必修 *1	2
微分積分学Ⅳ	1	2	2	選択必修 *1	2
確率統計Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1 4単位	2
確率統計Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1 必修	2

グラフ理論	1	2	2	選択必修 *1	2
現代数理科学 I	1	2	2	選択	3・4
現代数理科学 II	1	2	2	選択	3・4
確率特論 A	1	2	2	選択	3・4
確率特論 B	1	2	2	選択	3・4
統計特論 A	1	2	2	選択	3・4
統計特論 B	1	2	2	選択	3・4
<b>情報科学</b>					
Cプログラミング II	1	2	2	選択必修 *2	2
コンピュータアーキテクチャ	1	2	2	選択必修 *2	2
デジタル画像処理	1	2	2	選択必修 *2 4単位	2
データベース	1	2	2	選択必修 *2 必修	2
コンピュータ化学 I	1	2	2	選択必修 *2	2
コンピュータ化学 II	1	2	2	選択必修 *2	2
数値計算	1	2	2	選択必修 *2	2
計算生物学	1	2	2	選択必修 *2	2
オペレーティングシステム	1	2	2	選択必修 *2	2
アルゴリズムとデータ構造	1	2	2	選択必修 *2	2
数理モデルとシミュレーション A	1	2	2	選択	3・4
数理モデルとシミュレーション B	1	2	2	選択	3・4
コンピュータネットワーク	1	2	2	選択	3・4
オートマトン	1	2	2	選択	3・4
コンピュータグラフィックス	1	2	2	選択	3・4
ソフトウェア工学	1	2	2	選択	3・4
<b>AI・データサイエンス</b>					
最適化の数理	1	2	2	選択必修 *3	2
機械学習	1	2	2	選択必修 *3 4単位	2
人工知能概論	1	2	2	選択必修 *3 必修	2
統計モデリング	1	2	2	選択必修 *3	2
情報分析と可視化	1	2	2	選択必修 *3	2
時系列データ解析	1	2	2	選択	3・4
深層学習	1	2	2	選択	3・4
情報検索	1	2	2	選択	3・4
画像データ解析	1	2	2	選択	3・4
テキストデータ解析	1	2	2	選択	3・4
<b>数理科学</b>					
解析学 I	1	2	2	選択必修 *4	2
代数学 I	1	2	2	選択必修 *4	2
代数学 II	1	2	2	選択必修 *4	2
位相数学 I	1	2	2	選択必修 *4 4単位	2
位相数学 II	1	2	2	選択必修 *4 必修	2
化学概論	1	2	2	選択必修 *4	1

生物学概論	1	2	2	選択必修 *4	1
物理学概論	1	2	2	選択必修 *4	1
電磁気学	1	2	2	選択必修 *4	2
量子力学 (基礎)	1	2	2	選択必修 *4	2
熱・統計力学	1	2	2	選択必修 *4	2
数理生物学	1	2	2	選択必修 *4	2
解析学 II	1	2	2	選択	3・4
応用解析学 A	1	2	2	選択	3・4
応用解析学 B	1	2	2	選択	3・4
代数学 III	1	2	2	選択	3・4
代数学特論	1	2	2	選択	3・4
幾何学 I	1	2	2	選択	3・4
幾何学 II	1	2	2	選択	3・4
相対性理論	1	2	2	選択	3・4
量子力学 (発展)	1	2	2	選択	3・4
物理化学	1	2	2	選択	2・3・4
現代生物学 A	1	2	2	選択	3・4
現代生物学 B	1	2	2	選択	3・4
量子化学	1	2	2	選択	2・3・4
<b>基盤演習</b>					
1 年次演習	1	2	2	必修	1
<b>講究</b>					
情報数理学講究 1	1	4	4	必修	4
情報数理学講究 2	1	4	4	必修	4

注1 1年次の自学科科目の履修は、20 単位を上限とする。

2 「\*1」印の範囲において4単位を修得しなければならない。

3 「\*2」印の範囲において4単位を修得しなければならない。

4 「\*3」印の範囲において4単位を修得しなければならない。

5 「\*4」印の範囲において4単位を修得しなければならない。

6 「情報数理学講究2」を履修するには、「情報数理学講究1」4単位を修得していなければならない。

7 数理科学科の学生は、自学科科目の必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて68 単位修得しなければならない。

8 数理科学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数124 単位のうち所定の科目の単位を含む84 単位を修得しなければならない。

#### (10) 教職課程科目

授業科目	授業期間 (15 週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
<b>各教科の指導法</b>					
英語科教育法 I A *	1	2	2	選択必修 (中・高 英語必修)	2

英語科教育法ⅠB *	1	2	2	選択必修	(中・高 英語必修)	3
英語科教育法ⅡA *	1	2	2	選択必修	(中 英語必修)	3
英語科教育法ⅡB *	1	2	2	選択必修	(中 英語必修)	3
宗教科教育法ⅠA *	1	2	2	選択必修	} (中 宗教必修 高 宗教2単位 必修)	2・3
宗教科教育法ⅠB *	1	2	2	選択必修		2・3
宗教科教育法ⅡA *	1	2	2	選択必修	(中 宗教必修)	2・3
宗教科教育法ⅡB *	1	2	2	選択必修	(中・高 宗教必修)	2・3
国語科教育法ⅠA *	1	2	2	選択必修	(中・高 国語必修)	2・3
国語科教育法ⅠB *	1	2	2	選択必修	(中・高 国語必修)	2・3
国語科教育法ⅡA *	1	2	2	選択必修	(中 国語必修)	2・3
国語科教育法ⅡB *	1	2	2	選択必修	(中 国語必修)	2・3
社会・地理歴史科教育法Ⅰ *	1	2	2	選択必修	(中社会・高地歴 必修)	2・3
社会・地理歴史科教育法Ⅱ *	1	2	2	選択必修	(中社会・高地歴 必修)	2・3
社会・公民科教育法Ⅰ *	1	2	2	選択必修	(中社会・高公民 必修)	2・3
社会・公民科教育法Ⅱ *	1	2	2	選択必修	(中社会・高公民 必修)	2・3
情報科教育法Ⅰ *	1	2	2	選択必修	(高 情報必修)	2・3
情報科教育法Ⅱ *	1	2	2	選択必修	(高 情報必修)	2・3
数学科教育法ⅠA *	1	2	2	選択必修	(中 数学必修)	2・3
数学科教育法ⅠB *	1	2	2	選択必修	(中・高 数学必修)	2・3
数学科教育法ⅡA *	1	2	2	選択必修	} (中 数学必修 高 数学2単位 必修)	2・3
数学科教育法ⅡB *	1	2	2	選択必修		2・3
<b>教育の基礎的理解に関する科目</b>						
教育原論	1	2	2	必修		2・3・4
教職論	1	2	2	必修		1・2・3
教育社会学	1	2	2	必修		2・3・4
教育心理学	1	2	2	必修		2・3・4
特別支援教育	1	2	2	必修		1・2・3
教育課程論 *	1	2	2	必修		2・3
<b>道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目</b>						
教育課程・教育方法論	1	2	2	必修		2・3
道徳教育の理論と方法 *	1	2	2	必修	(中学 必修)	2・3・4
総合的な学習の時間の指導法*	1	2	2	必修		2・3・4
特別活動論 *	1	2	2	必修		2・3・4
生徒・進路指導論 *	1	2	2	必修		2・3・4



教育相談 *	1	2	2	必修	2・3
教育方法論（ICTの活用を含む）*	1	2	2	必修	2・3
<b>教育実践に関する科目</b>					
教育実習事前事後指導 *	1	1	1	必修	3
教育実習 *	1		4	必修	4
教職実践演習（中・高）*	1	2	2	必修	4

注1 2年次以上で教職課程科目（「教職論」を除く。）を履修するには、所定の教職課程登録を行っていないと履修できない。

2 「教育課程・教育方法論」は2019～2021年度入学者に限り履修できるものとする。「教育課程・教育方法論」の単位を修得した者は「教育課程論」および「教育方法論（ICTの活用を含む）」の必修に代えることができる。

3 「教育実習」を履修するには、以下の科目を含む上記教職課程科目27単位を3年次修了までに修得していなければならない。

各教科の指導法6単位、「教職論」2単位、「特別支援教育」2単位、「教育課程論」2単位、「教育相談」2単位、「教育方法論（ICTの活用を含む）」2単位、「教育実習事前事後指導」1単位

「教育課程・教育方法論」の単位を修得した学生は、「教育実習」を履修するには、以下の科目を含む上記教職課程科目23単位を3年次修了までに修得していなければならない。

「教職論」2単位、「教育課程・教育方法論」2単位、各教科の指導法6単位、「教育相談」2単位、「教育実習事前事後指導」1単位

4 \*印の授業科目の単位は、自由選択科目の単位として数えることはできない。

5 介護等の体験を行うためには、「特別支援教育」2単位を介護等の体験を行う年度の前年度末までに修得していなければならない。

#### (11) 学芸員課程科目

授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
博物館概論	1	2	2	必修	2
博物館資料論	1	2	2	必修	2
博物館経営論	1	2	2	必修	2・3
博物館資料保存論	1	2	2	必修	2・3
博物館展示論	1	2	2	必修	2・3
博物館教育論	1	2	2	必修	2・3
生涯学習論	1	2	2	必修	2・3・4
博物館情報・メディア論	1	2	2	必修	2・3・4
博物館実習1*	1	2	1	必修	3
博物館実習2**	1	2	1	必修	3
博物館実習3***	2		1	必修	4

注1 学芸員課程科目を履修するには、2年次始めに所定の学芸員課程登録を行っていないと履修できない。

2 \*印の「博物館実習1」を履修するには、上記必修科目のうち、次の4科目計8単位を修得していなければならない。

「博物館概論」及び「博物館資料論」の2科目計4単位

「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」のうち2科目計4単位

3 \*\*印の「博物館実習2」を履修するには、上記必修科目のうち、次の5科目計9単位を修得していなければならない。

「博物館概論」及び「博物館資料論」の2科目計4単位

「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」のうち2科目計4単位

「博物館実習1」1単位

4 \*\*\*印の「博物館実習3」を履修するには、上記必修科目のうち、次の8科目計14単位並びに東京女子大学学芸員資格取得に関する内規に定める選択科目4単位を修得していなければならない。

「博物館概論」、「博物館資料論」、「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、

「博物館教育論」、「博物館実習1」、「博物館実習2」

5 \*印の「博物館実習1」、\*\*印の「博物館実習2」及び\*\*\*印の「博物館実習3」の単位は、自由選択科目の単位として数えることはできない。

## 別表第2（第23条第2項及び第34条第1項関係）

### 入学検定料、入学金、学費及び在籍料

費目		金額	備考
入学検定料		35,000円	
		15,000円	一般選抜（大学入学共通テスト3教科型） 一般選抜（大学入学共通テスト5科目型） 一般選抜（3月期（専攻特色型）） 一般選抜（3月期（国公立併願型）） 外国人留学生入学試験 外国人留学生対象 日本語学校指定校制推薦入学
入学金		200,000円	
		100,000円	本学及び東京女子大学短期大学部に在籍していた者
学費	授業料	786,000円	2024年度以降入学者 年額
		760,000円	2023年度以前入学者 年額
	教育充実費	314,000円	国際英語学科 年額
		274,000円	国際英語学科以外の学科 年額
在籍料		140,000円	年額

注1 入学検定料は次の併願割引を適用することができる。

(1) 一般選抜（個別学力試験型）において2専攻又は3専攻を併願する場合、2専攻目からの検定料を10,000円とする。

(2) 一般選抜（英語外部検定試験利用型）において2専攻以上併願する場合、2専攻目からの検定料を10,000円とする。

(3) 一般選抜（個別学力試験型）と一般選抜（英語外部検定試験利用型）を併願する場合、一般選抜（個別学力試験型）の1専攻目の検定料を35,000円とし、一般選抜（英語外部検定試験利用型）の検定料は1専攻あたり10,000円とする。

2 1学期間の休学に係る在籍料は年額の2分の1とする。

## 東京女子大学学則の変更事項を記載した書類

### I. 主な変更の事由

①2024 年度以降、入学定員および収容定員を変更する。

### II. 主な変更事項

①2024 年度以降、入学定員および収容定員を変更する。

.....第 5 条

# 東京女子大学学則一部改正

(1948年3月25日制定)

改 正	2023年3月10日改正学則																																																
<p><b>第1章 目的</b></p> <p><b>第1条</b> 東京女子大学（以下「本学」という。）は、キリスト教を教育の根本方針となし、学問研究及び教育の機関として、女子に高度の教養を授け、専門の学術を教授研究し、もって真理と平和を愛し人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的とする。</p> <p><b>第2条～第3条の2</b> 略</p> <p><b>第4条</b> 現代教養学部、国際英語学科、人文学科、国際社会学科、心理・コミュニケーション学科及び数理科学科を置く。 2～6 略</p> <p><b>第5条</b> 学部及び学科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学 部</th> <th style="text-align: center;">学 科</th> <th style="text-align: center;">入学定員</th> <th style="text-align: center;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">現代教養学部</td> <td style="text-align: center;">国 際 英 語 学 科</td> <td style="text-align: center;">100 名</td> <td style="text-align: center;">400 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人 文 学 科</td> <td style="text-align: center;">205 名</td> <td style="text-align: center;">820 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">国 際 社 会 学 科</td> <td style="text-align: center;">284 名</td> <td style="text-align: center;">1,136 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">心理・コミュニケーション学科</td> <td style="text-align: center;">200 名</td> <td style="text-align: center;">800 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">数 理 科 学 科</td> <td style="text-align: center;">71 名</td> <td style="text-align: center;">284 名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">総 計</td> <td style="text-align: center;">860 名</td> <td style="text-align: center;">3,440 名</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>第6条～第49条</b> 略</p> <p><b>第13章 改廃手続</b></p> <p><b>第50条</b> この学則の改廃は、大学評議会の審議を経て、学長がその意見を徴し理事会に提案して、理事会が決定する。ただし、第8条の2第3項にかかわる改廃については、教授会の審議を経て、学長がその意見を徴するものとする。</p> <p><b>附 則</b> 略</p> <p><b>附 則</b> (2023年3月10日改正)</p> <p>この学則は、2023年4月1日から施行する。</p> <p><b>附 則</b> (2023年4月20日改正)</p> <p><u>1 この学則は、2023年4月20日から施行し、2023年4月1日から適用する。</u></p> <p>2 別表第1（第9条第2項関係）(10) 教職課程科目に係る部分は、2022年2月17日改正時附則にかかわらず、2019年度以降の入学者に適用する。</p> <p>3 <u>第1項にかかわらず、別表第1（第9条第2項関係）(10) 教職課程科目及び別表第2（第23条第2項及び第34条第1項関係）に係る部分を除き、2024年4月1日から適用する。改正後の第4条第6項、第5条、第9条、第12条、第13条、第16条及び別表第1（第9条第2項関係。ただし、(10) 教職課程科目を除く。）については、2024年度以降の入学者に適用し、2023年度以前の入学者については、従前の学則による。ただし、現代教養学部の収容定員は、第5条の規定にかかわらず、2024年度から2026年度までの間、次のとおりとする。</u></p>	学 部	学 科	入学定員	収容定員	現代教養学部	国 際 英 語 学 科	100 名	400 名	人 文 学 科	205 名	820 名	国 際 社 会 学 科	284 名	1,136 名	心理・コミュニケーション学科	200 名	800 名	数 理 科 学 科	71 名	284 名	総 計		860 名	3,440 名	<p><b>第1章 目的</b></p> <p><b>第1条</b> 東京女子大学（以下「本学」という。）は、キリスト教を教育の根本方針となし、学問研究及び教育の機関として、女子に高度の教養を授け、専門の学術を教授研究し、もって真理と平和を愛し人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的とする。</p> <p><b>第2条～第3条の2</b> 略</p> <p><b>第4条</b> 現代教養学部、国際英語学科、人文学科、国際社会学科、心理・コミュニケーション学科及び数理科学科を置く。 2～6 略</p> <p><b>第5条</b> 学部及び学科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学 部</th> <th style="text-align: center;">学 科</th> <th style="text-align: center;">入学定員</th> <th style="text-align: center;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">現代教養学部</td> <td style="text-align: center;">国 際 英 語 学 科</td> <td style="text-align: center;">130 名</td> <td style="text-align: center;">520 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人 文 学 科</td> <td style="text-align: center;">205 名</td> <td style="text-align: center;">820 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">国 際 社 会 学 科</td> <td style="text-align: center;">284 名</td> <td style="text-align: center;">1,136 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">心理・コミュニケーション学科</td> <td style="text-align: center;">200 名</td> <td style="text-align: center;">800 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">数 理 科 学 科</td> <td style="text-align: center;">71 名</td> <td style="text-align: center;">284 名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">総 計</td> <td style="text-align: center;">890 名</td> <td style="text-align: center;">3,560 名</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>第6条～第8条の2</b> 略</p> <p><b>第13章 改廃手続</b></p> <p><b>第50条</b> この学則の改廃は、大学評議会の審議を経て、学長がその意見を徴し理事会に提案して、理事会が決定する。ただし、第8条の2第3項にかかわる改廃については、教授会の審議を経て、学長がその意見を徴するものとする。</p> <p><b>附 則</b> 略</p> <p><b>附 則</b> (2023年3月10日改正)</p> <p>この学則は、2023年4月1日から施行する。</p>	学 部	学 科	入学定員	収容定員	現代教養学部	国 際 英 語 学 科	130 名	520 名	人 文 学 科	205 名	820 名	国 際 社 会 学 科	284 名	1,136 名	心理・コミュニケーション学科	200 名	800 名	数 理 科 学 科	71 名	284 名	総 計		890 名	3,560 名
学 部	学 科	入学定員	収容定員																																														
現代教養学部	国 際 英 語 学 科	100 名	400 名																																														
	人 文 学 科	205 名	820 名																																														
	国 際 社 会 学 科	284 名	1,136 名																																														
	心理・コミュニケーション学科	200 名	800 名																																														
	数 理 科 学 科	71 名	284 名																																														
総 計		860 名	3,440 名																																														
学 部	学 科	入学定員	収容定員																																														
現代教養学部	国 際 英 語 学 科	130 名	520 名																																														
	人 文 学 科	205 名	820 名																																														
	国 際 社 会 学 科	284 名	1,136 名																																														
	心理・コミュニケーション学科	200 名	800 名																																														
	数 理 科 学 科	71 名	284 名																																														
総 計		890 名	3,560 名																																														

学 部、学 科 等	収 容 定 員		
	2024年度	2025年度	2026年度
現 代 教 養 学 部			
国 際 英 語 学 科	490名	460名	430名
人 文 学 科	820名	820名	820名
国 際 社 会 学 科	1,136名	1,136名	1,136名
心 理 ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	800名	800名	800名
数 理 科 学 科	284名	284名	284名
(計)	3,530名	3,500名	3,470名

4 前項にかかわらず、改正後の別表第1（第9条第2項関係）に定める以下の科目については2018年度から2023年度入学者にも適用する。

知のかけはし科目人文社会横断型AからZ及び自然科学包含型AからI

消費者行動論、人的資源管理論、アクティブラーニング実習（経済経営）1及び2

5 第3項にかかわらず、別表第2（第23条第2項及び第34条第1項関係）に係る部分は、2024年4月1日から適用する。

別表第1（第9条第2項関係） 略

別表第1（第9条第2項関係） 略

別表第1の2（第17条の4第2項関係） 略

別表第2（第23条第2項及び第34条第1項関係） 略

別表第2（第23条第2項及び第34条第1項関係） 略